

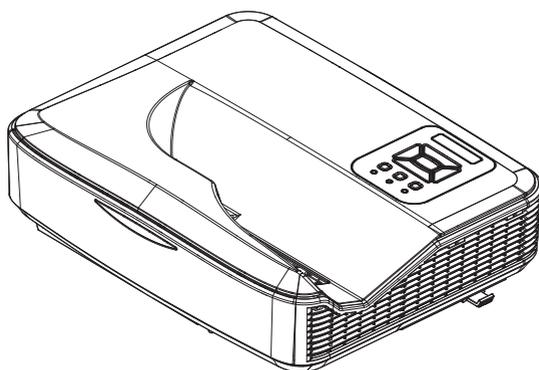
SAKAWA

ULTRA WIDE PROJECTOR

ワイード

SP-UW360iR

ユーザーマニュアル



目次

はじめに

3 安全上のご注意

6 製品の各部名称

- 6 本体
- 7 コントロールパネル
- 8 入/出力接続
- 9 リモコン
- 11 IR ペン

基本的な使い方

12 接続方法

- 12 コンピュータへの接続例
- 13 ビデオソースへの接続例

14 設置方法

- 14 投影先についての注意
- 14 電源を入れる
- 15 電源を切る
- 16 高さと台形を調整する
- 17 画角を調整する (ピッチ・ロール・ヨーの調整)
- 18 ワードに最適な画面設定を行う
(表示モードと解像度の設定)
- 23 曲面補正を行う
- 24 曲面黒板に投影する際の補正手順
- 25 フォーカスを調整する

26 投影距離表

- 26 取付測定チャート [壁取付]
- 28 取付測定チャート [天吊]
- 29 取付測定チャート [直置き]

便利な機能

- 30 デジタルスライド機能を使う
- 31 PIP - PBP 機能
 - 31 「PIP (Picture In Picture) 機能」を使う
 - 33 「PBP (Picture By Picture) 機能」を使う

各種設定

35 設定メニュー

- 35 操作方法
- 36 映像モード
- 38 スクリーン
- 41 設定
- 42 音量
- 43 オプション
- 45 LAN 設定
- 47 インタラクティブ
- 48 ウェブブラウザを使用して 프로젝タを制御する

IR ペンを使う

53 IR ペンを使う前に (初期設定)

- 53 ユーティリティソフトウェアのインストール
- 55 タッチ位置の校正を自動で行う
- 57 タッチ位置の校正を手動で行う
- 59 トラブルシューティングビューワ

ワイドソフトウェア

60 ワイドソフトウェア

- 61 ワイドソフトウェアをインストールする
- 63 ワイドソフトウェアをアンインストールする
- 63 ワイドソフトウェアを起動する
- 64 基本操作
- 65 アイコンを手元に引き寄せる

66 ペンツール

- 66 書く・消す
- 67 お気に入りのペンを登録する

68 黒板モード

- 68 黒板モードに切り替える (ガイドを表示する)
- 70 画像を配置する
- 71 保存する
- 71 黒板モードの概念

72 画面ならべ

74 サイドメニュー (画面サイズ変更・遠隔授業)

75 各種設定

- 75 背景を設定する
- 75 アイコンおよびパレットの大きさを変更する

トラブルシューティング

76 トラブルシューティング

- 77 LED インジケータの見方
- 78 トラブルに関するお問い合わせ先

メンテナンス

- 79 ダストフィルターの取付および清掃

付録

- 80 製品仕様
- 81 互換性モード
- 85 RS232 コマンドとプロトコル機能リスト
- 89 天井マウント設置
- 90 安全上のご注意

安全上のご注意



警告：この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



警告：火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。



警告：感電の恐れがあるため、キャビネットを開けないでください。開けるときは、サービススタッフにご依頼ください。

安全に関する大切な指示

- ▶ 通気口を塞がないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。冷却効果が下がることにより本体内部の温度が上昇し、故障や出火の原因になります。
- ▶ 飲み物の近くや、ソファ、ベッドなどの柔らかいものの上に 프로젝タを置かないでください。
- ▶ 프로젝タは、水気や湿気のあるところで使用及び設置をしないでください。 프로젝タを雨や湿気にさらさないようにしてください。火災や感電の原因になります。
- ▶ ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- ▶ 本体についた汚れを拭き取る際は乾いた布で拭いてください。
- ▶ 製造元の指定する付属品 / アクセサリーのみを使用してください。
- ▶ 物理的に破損している、または不正使用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的な破損 / 不正使用は、次のような場合をいいます。（但し、これは一部の例です）
 - 装置を落下した
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている
 - 프로젝タに液体をこぼした
 - 프로젝タを、雨や湿気にさらしてしまった
 - 프로젝タ内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする

安全上のご注意

- ▶ お客様自身でこのプロジェクタを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、感電やその他の危険にさらされます。
- ▶ プロジェクタ内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- ▶ 安全に関するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
- ▶ 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

このユーザーマニュアルにあるすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



警告: ランプ点灯中は、プロジェクタレンズを覗いてはいけません。高輝度の光が目には損傷を与える危険があります。



警告: 火災や感電の原因となるため、本プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。



警告: プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。



警告: 使用中は、リモコン・IR ペン・ケーブル及びその他の物が光源の近くにないようにしてください。至近距離でレーザーが当たると非常に高温になるため、変形したり発火の恐れがあります。

推奨事項

- ▶ 清掃の際は、本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ▶ プロジェクタ筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- ▶ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項

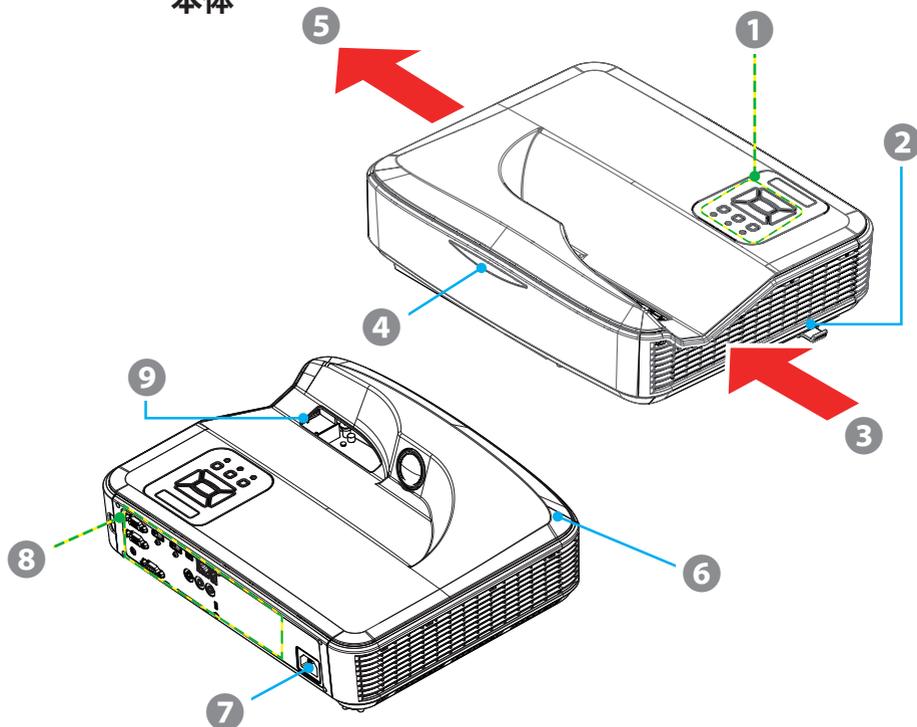
- ▶ 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- ▶ 本体の清掃の際は、研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などを使用しないでください。
- ▶ 以下のような環境下では使用しないでください。
 1. 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所
 - 海拔 0 ~ 6000 フィート
 - 極端に暑い: > 35° C
 - 極端に寒い: < 5° C
 - 海拔 6000 フィート以上
 - 極端に暑い: > 30° C
 - 極端に寒い: < 5° C
 - 極端に高湿度: > 70% R.H. (相対湿度)
 2. 大量のほこりや汚れにさらされる場所
 3. 強い磁場を生成する機器の近く
 4. 直射日光の当たる場所

光源ユニットについて

- ▶ 本機的光源ユニットには、レーザーを使用しております。
- ▶ 光源ユニットの寿命目安は、約 20000 時間です。ただし、光源ユニットの個体差や使用条件、設定メニューの各設定状態などによって差があります。
- ▶ 光源ユニットが点灯しなくなった場合や、光源ユニットの明るさが著しく暗くなった場合は光源ユニットの寿命です。お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口に交換をご依頼ください。
- ▶ 本機を分解・改造した場合は、保証および修理の対象外になります。

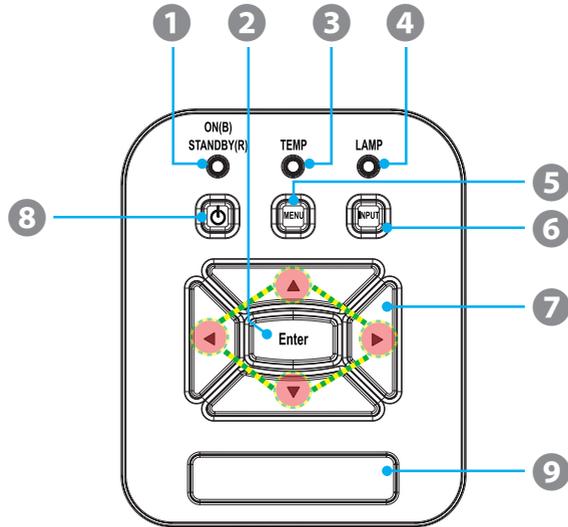
製品の各部名称

本体



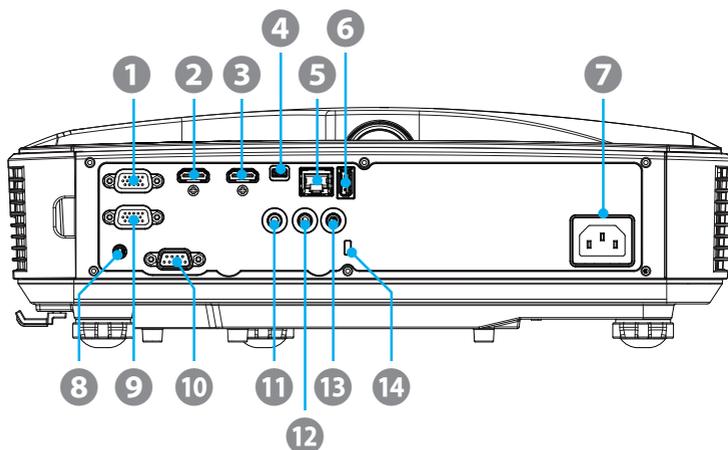
名称	説明
1. コントロールパネル	プロジェクタの電源のオン/オフや、操作を行います。
2. フォーカスレバー	投影映像のフォーカスを調整します。
3. 通気口 (吸気)	内部冷却のために必要な外気を取り入れます。
4. IRレシーバー	リモコン信号の受光部です。
5. 通気口 (排気)	内部冷却のために取り入れた外気を放出します。
6. スピーカー	音声が出力されるスピーカーです。
7. 電源ソケット	電源コードを接続します。
8. 入/出力接続	詳しくは、ユーザーマニュアルP.8「入/出力接続」をご参照ください。
9. レンズ	プロジェクタの光線が出力されます。※使用時は覗かないでください。

コントロールパネル



名称	説明
1. 電源 (Power) LED	プロジェクタの電源状態を示すLEDインジケータです。
2. 【Enter】ボタン	項目選択を確定します。
3. 温度 (TEMP) LED	プロジェクタの温度状態を示すLEDインジケータです。
4. ランプ (LAMP) LED	プロジェクタの光源状態を示すLEDインジケータです。
5. 【MENU】ボタン	メニューを起動します。
6. 【INPUT】ボタン	プロジェクタが自動的に有効な入力ソースを検出します。
7. 4方向選択ボタン	▲▼◀▶を押して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
8. 【電源】ボタン	プロジェクタの電源のオン/オフを行います。
9. 赤外線レシーバー	リモコン信号の受光部です。

入/出力接続



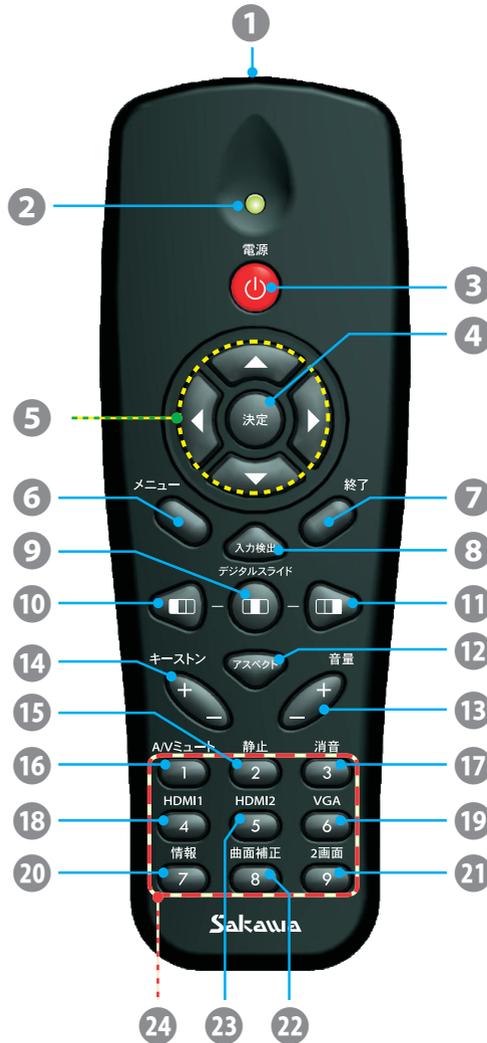
名称

1. コンピュータ入力 (Dサブ15ピンミニ)
2. HDMI入力2
3. HDMI入力1
4. USB ミニ B (インタラクティブ機能用)
5. RJ-45
6. USB タイプ A
7. 電源
8. インタラクティブ
9. モニタ出力 (Dサブ15ピンミニ)
10. RS-232 (9ピンDINタイプ)
11. 音声出力 (3.5mmステレオミニ)
12. 音声入力 (3.5mmステレオミニ)
13. マイク (3.5mmステレオミニ)
14. Kensington™ロックポート

注意

- モニターループスルーは、コンピュータ入力 (Dサブ15ピンミニ) でのみサポートされます。

リモコン

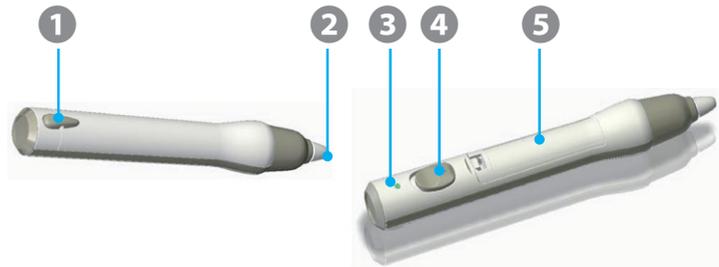


名称	説明
1. 赤外線トランスミッタ	プロジェクタに信号を送信します。
2. LEDインジケータ	信号送信中の状態を示します。
3. 【電源】ボタン	プロジェクタの電源のオン/オフを行います。

製品の各部名称

4. 【決定】ボタン	選択した項目を確定します。
5. 4方向選択ボタン	▲▼◀▶を押して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
6. 【メニュー】ボタン	メニューを起動します。
7. 【終了】ボタン	メニューを閉じます。
8. 【入力検出】ボタン	入力ソースの選択画面を表示します。
9. 【デジタルスライド(中央)】ボタン	<p>投影映像を「左・中央・右」の任意の位置に移動します。 ※アスペクト比が16:9、4:3のどちらかであり、「デジタルスライド」がオンの場合にのみ有効です。詳しくは、ユーザーマニュアルP.30「デジタルスライド機能を使う」をご参照ください。</p>
10. 【デジタルスライド(左)】ボタン	
11. 【デジタルスライド(右)】ボタン	
12. 【アスペクト】ボタン	アスペクト比を変更します。
13. 【音量 (+/-)】ボタン	音量の増減を調整します。
14. 【キーストーン (+/-)】ボタン	投影映像のゆがみを調整します。
15. 【静止】ボタン	映像を表示した状態で静止/解除します。(静止時、オーディオは消音状態になります。)
16. 【A/Vミュート】ボタン	投影映像およびオーディオを一時的にオン/オフします。(ブラックスクリーンのオン/オフ)
17. 【消音】ボタン	オーディオを消音/解除します。
18. 【HDMI1】ボタン*	入力ソースを「HDMI1」に切り替えます。
19. 【VGA】ボタン*	入力ソースを「VGA」に切り替えます。
20. 【情報】ボタン	サポートに必要な情報を表示します。
21. 【2画面】ボタン	<p>「PBP機能」に切り替えます。(「デジタルスライド」がオフになります。)</p> <p>※「PIP - PBP機能」使用時に押すと、「PIP - PBP機能」がオフになり、「デジタルスライド」がオンになります。</p>
22. 【曲面補正】ボタン	「曲面補正」の設定画面にジャンプします。(「映像デジタル補正」>「曲面補正」>「5×3」選択と同様)
23. 【HDMI2】ボタン*	入力ソースを「HDMI2」に切り替えます。
24. 数字ボタン	数字入力エリアにて使用します。

IRペン



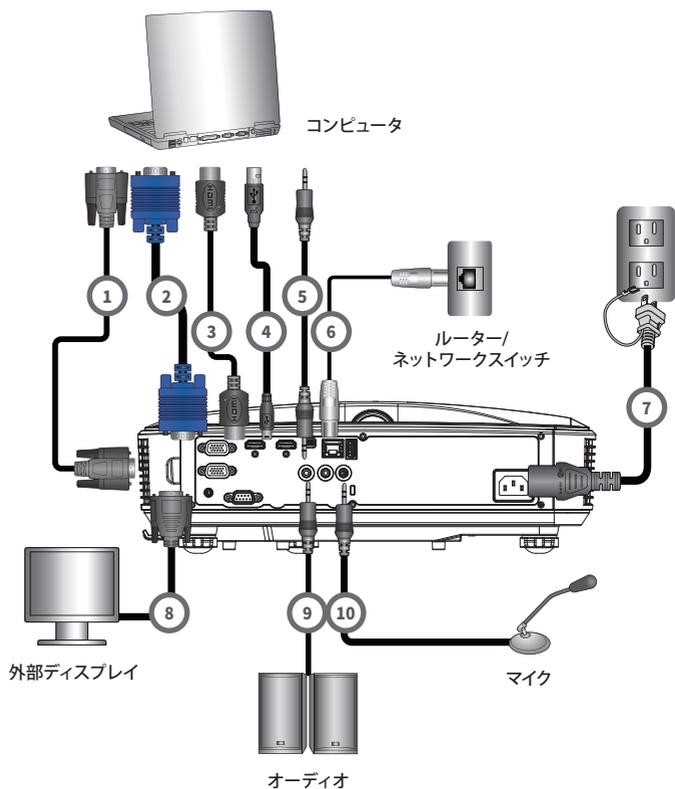
機能	説明	名称
電源管理	電源オン/オフスイッチ	1. ストラップ穴
LEDインジケータ	デュアルカラー (緑/赤) LED	2. ペン先
電池	単4電池 (アルカリ) x 1 使用	3. LEDインジケータ
使用時間	18時間 (連続使用)	4. 電源スイッチボタン
光源	850 nm IR (赤外線) LED	5. 電池カバー
駆動電流	50 mA/1.5 V (最大)	
カラー	本体 (白色) / 飾りストリップ (灰色)	
寸法 (長さ x 直径)	150.5 mm (長さ) x 23 mm (直径)	
ペン先	交換用ペン先×8 が付属 ※ユーザーによる交換が可能	
本体材質	プラスチック	
重量	39 g (電池装着時)	

LED インジケータの見方

状態	電源スイッチ	LEDの状態	説明
通常オン	オフ→オン	2秒間緑色に点灯	電池残量が不足しています
低バッテリー時オン	オフ→オン	2秒間赤色に点灯	
	オン	赤色に点滅 (ペン先が押されたとき)	
通常オフ	オフ	オフ	

IR ペンの使用については、[ユーザーマニュアル P.53「IR ペンを使う前に \(初期設定\)」](#)をご参照ください。

コンピュータへの接続例



注意

- (*) オプションのアクセサリ
- (**) 製品に同梱されている電源コードは本機専用であり、他の製品には使用できません。

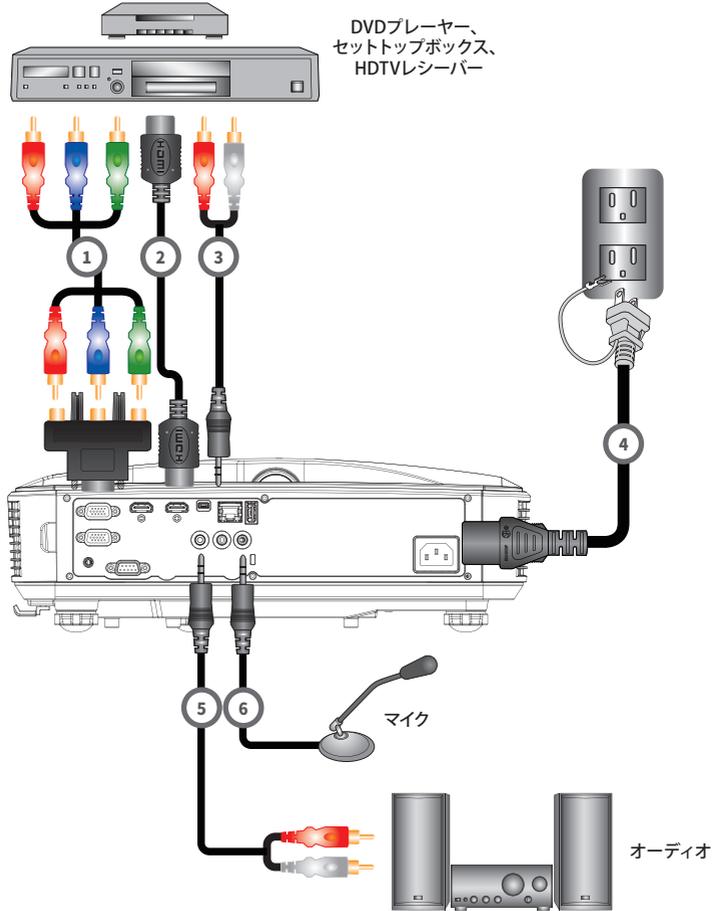
接続ケーブル

1. RS-232ケーブル*
2. VGAケーブル
3. HDMIケーブル*
4. USBケーブル
5. 音声ケーブル*
6. RJ-45ケーブル*
7. 電源コード**
8. VGA出力ケーブル*
9. 音声ケーブル*
10. 音声入力ケーブル*

音声だけを出力するには？

音声ケーブルを接続してプロジェクタから音声のみを出力したい場合は、「自動ソース」をオフ（参照：ユーザーマニュアル P.43 「自動ソース」）にした状態で、入力ソース「VGA」を選択してください。

ビデオソースへの接続例



注意

接続ケーブル

- (*) オプションのアクセサリ
- (**) 製品に同梱されている電源コードは本機専用であり、他の製品には使用できません。

1. 15ピン - 3 RCAコンポーネント (要変換アダプタ・RCAポートは存在しません) *
2. HDMIケーブル*
3. 音声ケーブル*
4. 電源コード**
5. 音声ケーブル*
6. 音声入力ケーブル*

設置方法

投影先についての注意

ワイードをご使用の際は、映写対応黒板または、映写対応ホワイトボードで使用していただくか、マグネットシートスクリーンに投影して使用されることをおすすめします。使用環境によっては、映写対応黒板および映写対応ホワイトボードやマグネットシートスクリーンに投影した場合でも投影映像が見つづらくなる場合があります。

電源を入れる

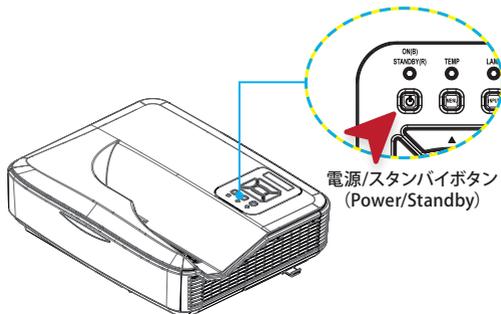


1. 電源コードと信号ケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源 (Power) LED がオレンジ色で点灯します。
2. プロジェクタまたはリモコンの【電源】ボタンを押してランプを点灯します。この時点で、電源 (Power) LED が青色で点灯します。
3. 表示したいソース (コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れて接続します。プロジェクタは自動的に入力ソースを検出しますが検出されない場合は【メニュー】ボタンを押して、「オプション」を開き、「自動ソース」が「オン」になっていることを確認します。
 - ▶ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの【INPUT】ボタンを押すか、またはリモコンの【入力検出】ボタンを押すと、入力ソースを切り換えることができます。

- 電力モードがスタンバイ (待機) モード (消費電力が 0.5 W 未満) にあるときにプロジェクタが待機状態になると、VGA 出力/入力とオーディオが非アクティブになります



- まず、プロジェクタの電源を入れた後、信号ソースを選択します



電源を切る

1. リモコンまたはコントロールパネルの【電源】ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。画面上に次のメッセージが表示されます。



確定のためにもう一度【電源】ボタンを押してください。これを行わないと、10秒後にメッセージ表示が消えます。【電源】ボタンを二回押しますと、ファンは冷却を開始し、システムはシャットダウンされます。

2. 冷却ファンが冷却サイクルとして約4秒間作動し続け、電源 (Power) LED がオレンジ色で点滅します。電源 (Power) LED がオレンジ色で点灯したら、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。プロジェクタの電源を再び入れたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、【電源】ボタンを押すだけでプロジェクタを立ち上げることができます。
3. 電源プラグをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。

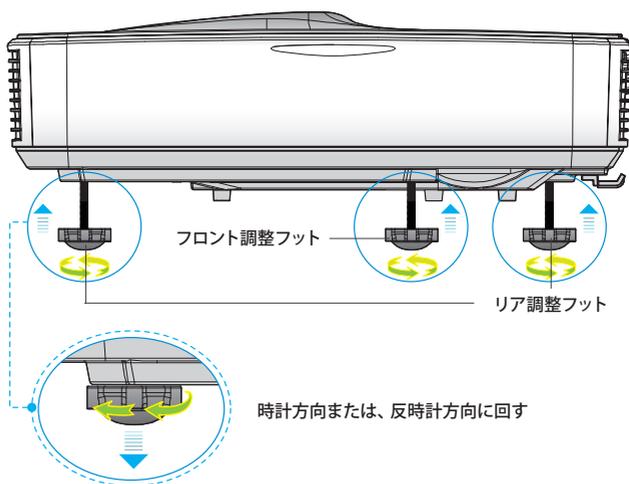
高さと台形を調整する

本プロジェクタには投影映像の高さ及び台形を調整するための調整フットが付いています。床が水平でない場合などに、調整フットで投影映像の調整を行ってください。

- ▶ 投影映像を見ながら、それぞれの調整フットを時計方向または、反時計方向に回します。

台形の上底が短い場合: フロント調整フットを縮めます。(または、リア調整フット二つを同時に伸ばします)

台形の下底が短い場合: フロント調整フットを伸ばします。(または、リア調整フット二つを同時に縮めます)

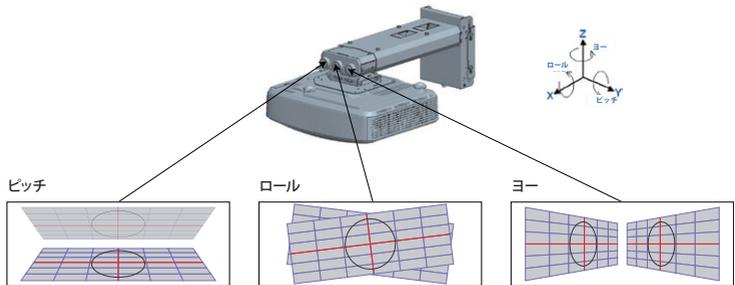


画角を調整する (ピッチ・ロール・ヨーの調整)

画角調整の際はメニューより、「設定」>「テストパターン」を表示すると調整がしやすくなります。

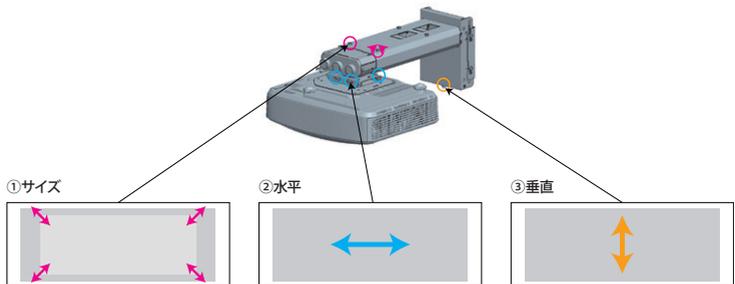
ステップ1:ピッチ、ロールおよびヨーの調整

ピッチ、ロールおよびヨーの調整ノブをまわして、映像がきれいな長方形になるようにします。



ステップ2:水平、垂直およびサイズ調整

1. ネジを緩めてから、 프로젝터를動かして映像サイズを調整します。調整後はネジを締め直します。
2. ネジを緩めてから、 프로젝터를動かして映像を水平方向に調整します。調整後はネジを締め直します。
3. 六角レンチを回して映像を垂直方向に調整します。



ワイドに最適な画面設定を行う (表示モードと解像度の設定)

画面の表示モードを変更する

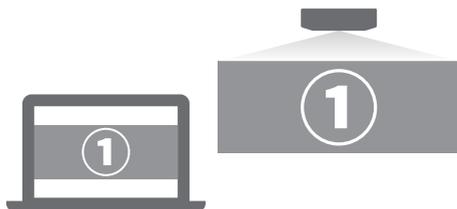
コンピュータの表示モード「複製」と「拡張」を理解し、使用方法に適した表示モードを選択します。

注意: プロジェクタとコンピュータを接続した状態でなければ表示モードは選択できません。

複製モードとは

コンピュータ画面とプロジェクタ投影画面が同じになります。

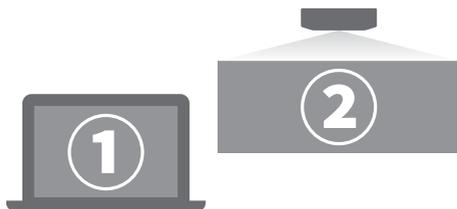
それぞれの画面の解像度（アスペクト比）も同じになるため、ワイドに最適な解像度に設定した場合、下図のように、コンピュータ画面にはワイド画面（アスペクト比 16:6）が表示され、上下に黒の余白が発生します。



拡張モードとは

1つの画面をコンピュータ画面とプロジェクタ投影画面で分割して表示します。

それぞれの画面に対して解像度の設定が可能です。



複製と拡張を切り替える

Windows 10、Windows 8 の操作手順

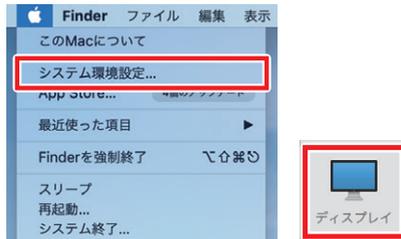
キーボードの「Windows」キーを押しながら、「P」キーを数回押して任意の表示モードを選択します。



Windows 10の場合

macOS の操作手順

1. アップルメニュー > 「システム環境設定」と選択して「ディスプレイ」をクリックし、「ディスプレイ」をクリックします。



2. 「配置」を選択して、「ディスプレイをミラーリング」項目をクリックして表示モードを切り替えます。ミラーリングとは、「複製モード」を指します。

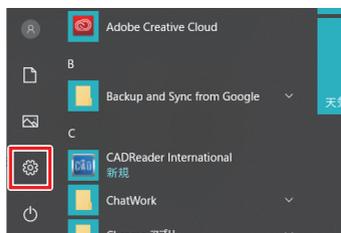


画面解像度を変更する

コンピュータの画面解像度を、アスペクト比 (16 : 6) に最適な値「1920 × 720」に変更します。

Windows 10 の操作手順

1. 「スタート」>  (設定) をクリックします。



2. 「Windows の設定」が表示されます。「システム」をクリックします。

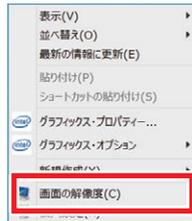


3. 「システム」が表示されます。画面左側から「ディスプレイ」をクリックし、「解像度」の設定項目をクリックして、表示された一覧から「1920 × 720」をクリックします。

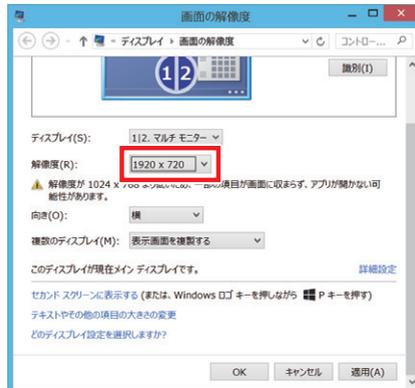


Windows 8 の操作手順

1. 「デスクトップ」の何も無い所を右クリックし、「画面解像度」をクリックします。



2. 「解像度」の設定項目をクリックして、表示された一覧から「1920 × 720」をクリックします。



設置方法

macOS の操作手順

1. アップルメニュー > 「システム環境設定」と選択して「ディスプレイ」をクリックし、「ディスプレイ」をクリックします。



2. 「変更」を選択して、表示された一覧から「1920 × 720」をクリックします。



曲面補正を行う

湾曲した面に投影した際に発生する映像の歪みを補正できます。



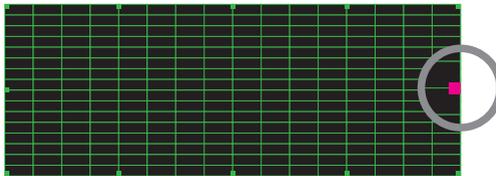
- 曲面補正は、コンピュータを映像ケーブルで接続して投影がされている状態でなければ設定できません。

リモコンでの操作手順

1. リモコンの [8]【曲面補正】 ボタンを押します。



2. 曲面補正グリッドが表示されます。リモコンの4方向選択ボタンで調整したい頂点を選択し(決定は【決定】ボタン)、リモコンの4方向選択ボタンで頂点を移動させて映像がきれいな長方形になるように調整してください。

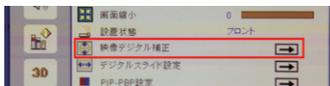


現在選択中の頂点が紫色で表示されます。

3. 調整が完了したら、[8]【曲面補正】 ボタンを押して補正画面を終了します。

メニューでの操作手順

1. メニューを開き、「スクリーン」>「映像デジタル補正」を選択します。



2. 「曲面補正」>「5×3」を選択すると、曲面補正グリッドが表示されます。



3. 設定のリセットは、「曲面補正リセット」で行います。



曲面黑板に投影する際の補正手順

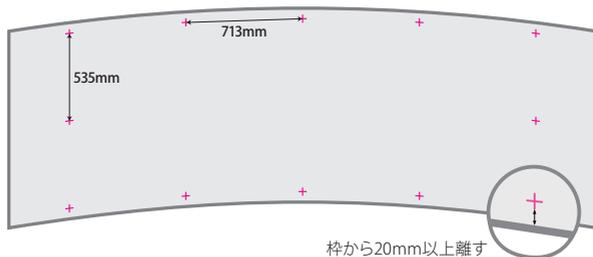
表面が湾曲した黑板（曲面黑板）に投影する際は、以下の手順に従って補正を行うとスムーズかつ綺麗に補正ができます。

補正の手順 (3600mm×1200mmの曲面黑板に対して、約120インチで投影する場合)

注意

- 映像の周辺に 20mm 以上の何も無いスペースを確保してください。

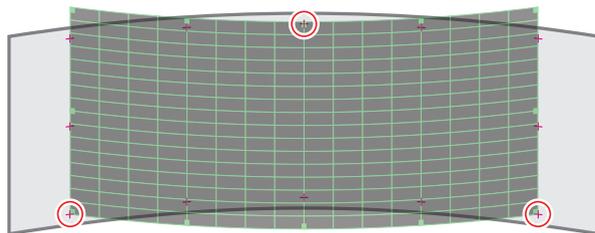
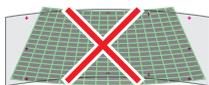
1. 投影予定位置の上部中心を基準に、黑板に12個の印をつけます。



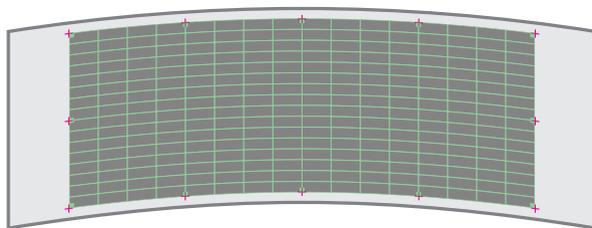
注意

- 映像が下の様な台形にならないように、左右の辺は平行を保ってください。

2. 曲面補正グリッドを表示し、丸で囲んだ3箇所の印とグリッドの頂点を大まかに合わせます。印より映像を少し大きめにするのがポイントです。



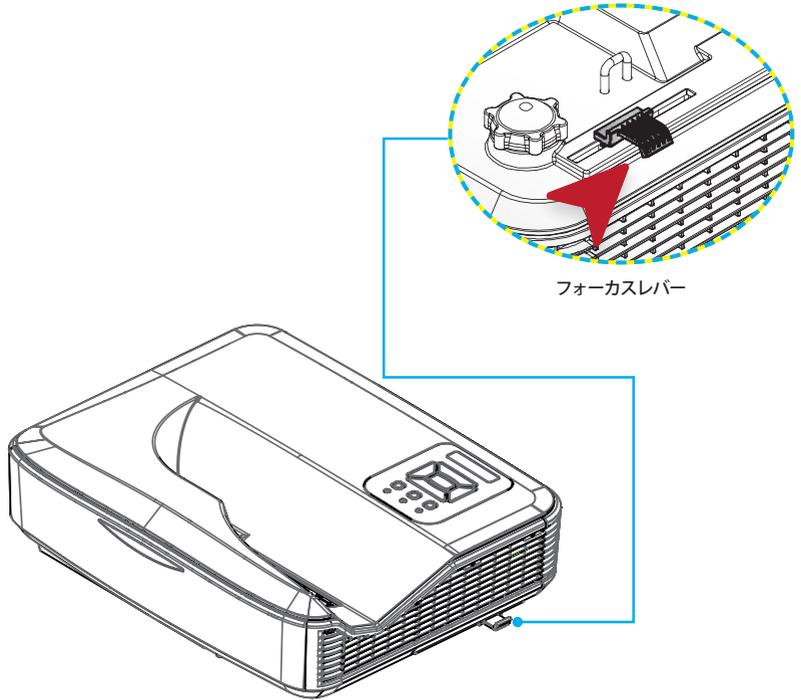
3. リモコンを使って、曲面補正グリッドの各頂点を印に合わせるように動かして完了です。



フォーカスを調整する

映像のフォーカスを合わせるには、フォーカスレバーをスライドさせます。

- ▶ フォーカスの合う距離の目安は、レンズから壁まで約 0.72 ~ 0.84m の範囲です。

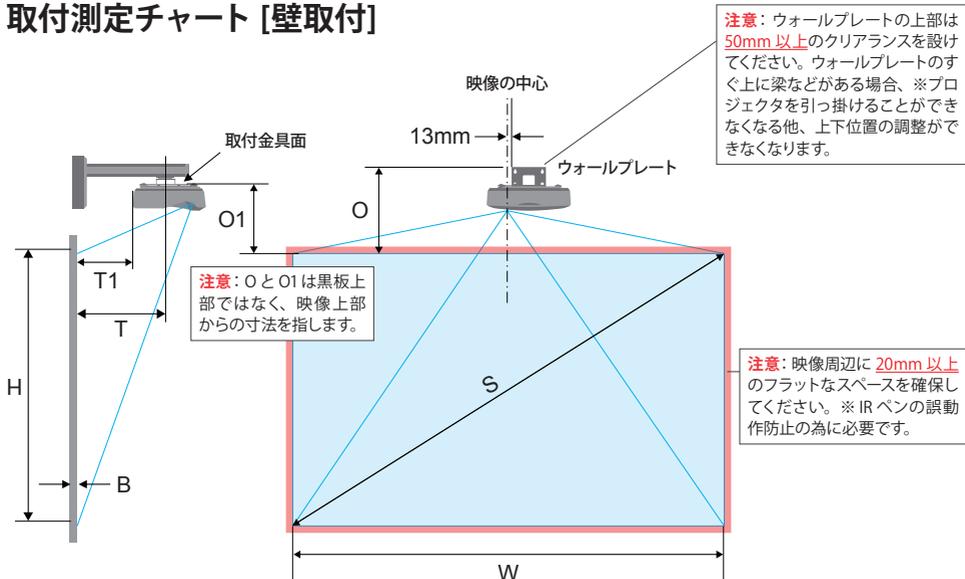


投影距離表

設置業者様へ【必ずお読みください】

- ・ **投影面周辺に20mm以上のフラットなスペースを確保してください。投影面周辺20mm未満に黒板枠や粉受けがある場合、IRペンの校正及び使用に支障をきたす恐れがあります。**
- ・ 表の数値は目安です。設置する場所や投影面の状態、プロジェクタの個体差等により数値に差異が発生することがあります。
- ・ 「垂直キーストン機能」を使用すると画質が劣化したり「デジタルスライド機能」使用時に画角が変形する恐れがあります。
- ・ 希望画面サイズが表にない場合、最も近いサイズの値を参考にしてください。(例: 132インチ→130インチ)
- ・ アスペクト比16:6、16:9、4:3それぞれの「映像高さ」の値は同じです。
- ・ 壁取付のチャートの値は、壁掛金具の上下調整位置をセンターの場合として算出しています。壁掛金具による金具の上下調整幅は、土約38mmです。

取付測定チャート [壁取付]



平面（平面黒板）に投影する場合 [画面アスペクト比 16：6]

[単位：mm]

映像サイズ(S) (インチ)※1	映像幅(W)※1	映像高さ(H)	投影面からプロ ジェクタ中心まで の距離(T)	投影面からプロ ジェクタの背面ま での距離(T1)	映像の最上部から 壁プレートの最 上部までの距離 (O)	映像の最上部から 接合突起の最 上部までの距離 (O1)
120 (86)	2854 (1900)	1070	654	518	490	396
125 (90)	2973 (1980)	1115	689	553	508	411
130 (94)	3092 (2060)	1159	725	589	526	424
135 (96)	3211 (2130)	1204	761	625	544	437
140 (100)	3329 (2220)	1249	797	661	562	451

※1 括弧内の数値は、画面アスペクト比 16：9 投影時の目安寸法です。

※オプションの壁掛金具 KM-CR001 は (T) の数値が最大で約 750 までの対応となります。

曲面（曲面黒板）に投影する場合 [画面アスペクト比 16：6]

曲面黒板に投影する場合、黒板幅が **3600mm 以内** の場合に限り、こちらの表の数値で取付を行ってください。

黒板幅が **4500mm 以上** かつ、投影面のカーブが緩やかで平面に近い場合は、上表「平面（平面黒板）に投影する場合」の数値で取付を行ってください。

[単位：mm]

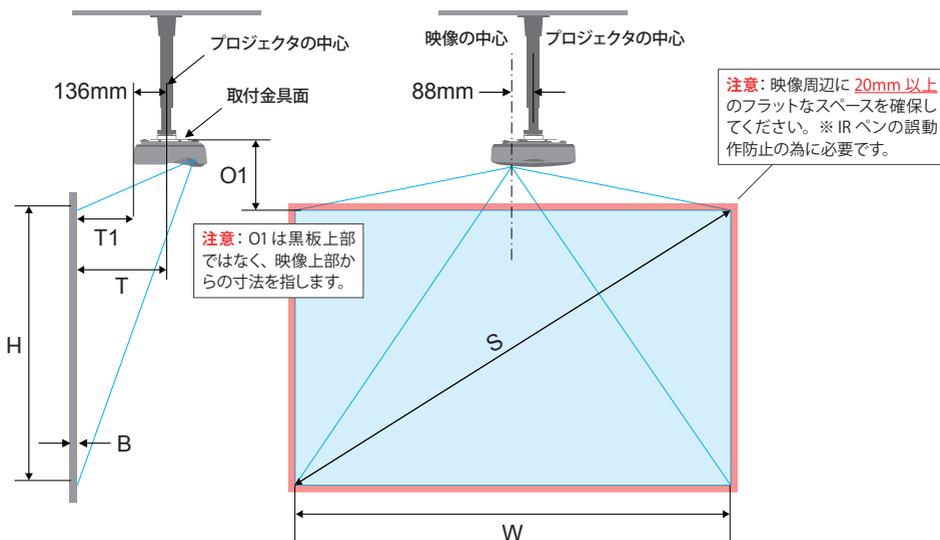
映像サイズ(S) (インチ)	映像幅(W)	映像高さ(H)	投影面からプロ ジェクタ中心まで の距離(T)	投影面からプロ ジェクタの背面ま での距離(T1)	映像の最上部から 壁プレートの最 上部までの距離 (O)	映像の最上部から 接合突起の最 上部までの距離 (O1)
120	2854	1070	654	518	523	429
125	2973	1115	689	553	541	447
130	3092	1159	725	589	559	465
135	3211	1204	761	625	577	483
140	3329	1249	797	661	595	501

※数値は、R 値 21626.62（一般的な曲面黒板の R 値を参考）の曲面に対し、「曲面補正機能」を使って投影画面をきれいな長方形に調整した際の寸法です。

※オプションの壁掛金具 KM-CR001 は (T) の数値が最大で約 750 までの対応となります。

投影距離表

取付測定チャート [天吊]



平面に投影する場合 [画面アスペクト比 16:6]※参考値

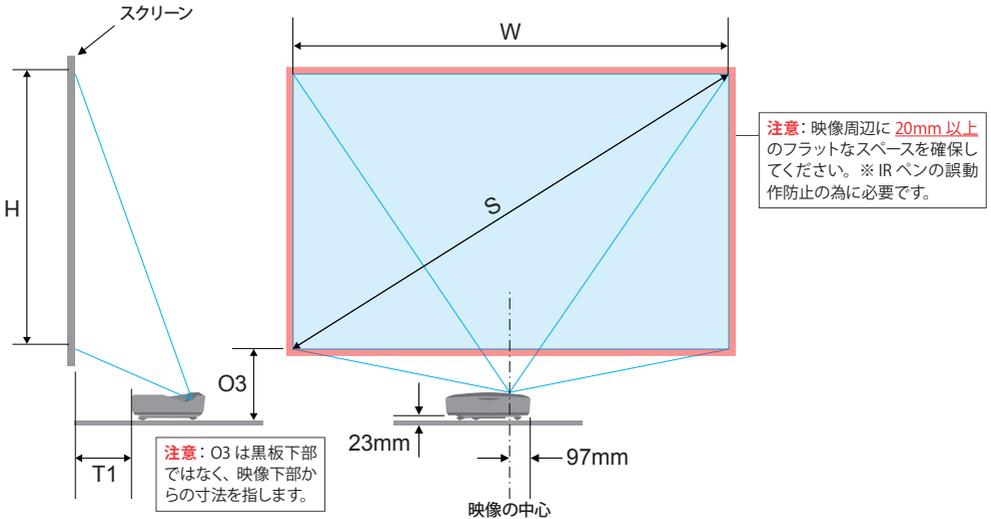
以下のチャートに従って設置した場合、映像サイズが 125 インチ以上になります。金具設置後の位置調整が難しい天吊設置では、まずは大きめに映像を映し、その後、プロジェクタ本体の「設定メニュー」>「スクリーン」より、「画面縮小」や「映像デジタル補正」を使用して調整を行うことをおすすめします。(参照: ユーザーマニュアル P.38 「スクリーン」)

[単位: mm]

映像サイズ(S) (インチ)※1	映像幅(W)※1	映像高さ(H)	投影面からプロジェクタ中心までの距離(T)	投影面からプロジェクタの背面までの距離(T1)	映像の最上部から接合突起の最上部までの距離(O1)
125 (90)	2973 (1980)	1115	725	589	424

※1 括弧内の数値は、画面アスペクト比 16:9 投影時の目安寸法です。

取付測定チャート [直置き]



平面に投影する場合 [画面アスペクト比 16 : 6]

[単位 : mm]

- ・ 数値は参考寸法です。設置の際は、実際に映像を投影しながら調整することをおすすめします。

映像サイズ(S) (インチ)※1	映像幅(W)※1	映像高さ(H)	投影面からプロジェクタの背面までの距離(T1)	映像の最下部からテーブルの最上部までの距離(O3)
120 (86)	2854 (1900)	1070	467	389
125 (90)	2973 (1980)	1115	497	403
130 (94)	3092 (2060)	1159	527	416
135 (96)	3211 (2130)	1204	557	429
140 (100)	3329 (2220)	1249	587	443

※1 括弧内の数値は、画面アスペクト比 16 : 9 投影時の目安寸法です。

デジタルスライド機能

デジタルスライド機能を使う

投影画面を左・中央・右に移動できます。板書と併用する際に便利な機能です。



- デジタルスライドは、アスペクト比 16:9 または、4:3 の状態のみ使用可能です。アスペクト比 16:6 での投影時は、デジタルスライドが使用できません。
- 「PIP - PBP 機能」がオンの時は、デジタルスライドをオンにできません。

リモコンでの操作手順

- リモコンの【デジタルスライド】ボタンを操作することで、画面を左・中央・右に移動できます。

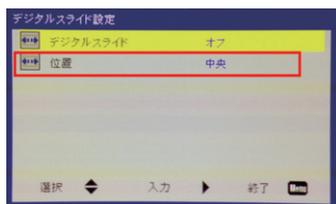


メニューでの操作手順

- メニューを開き、「スクリーン」>「デジタルスライド設定」を選択します。



- 「位置」で映像位置を移動できます。



PIP – PBP機能



「PIP (Picture In Picture) 機能」を使う

「PIP (Picture In Picture) 機能」とは、メインの画面の中に小さな独立した領域を設けて別システムの映像を出力する機能です。



- 「デジタルスライド」が「オン」の状態では、「PIP – PBP 機能」を使用できません。「PIP – PBP 機能」を使用する際は、「デジタルスライド」をオフにしてください。

操作手順

1. 機器 2 台を映像ケーブルでプロジェクタに接続します。(接続例: HDMI1 と HDMI2 または、HDMI1 と VGA)
2. メニューを開き、「スクリーン」>「デジタルスライド設定」より、デジタルスライド設定を「オフ」にします。
3. 「スクリーン」>「PIP – PBP 設定」を選択します。

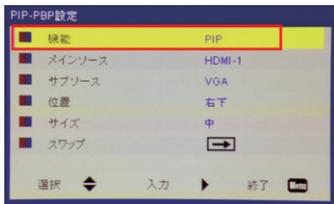


- 「デジタルスライド」が「オン」の状態では、「PIP – PBP 設定」の項目がグレーアウトされて選択できません。

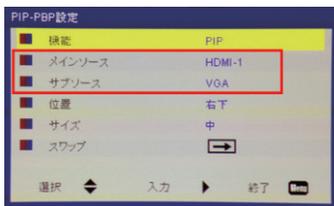


PIP – PBP機能

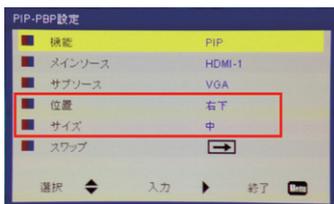
4. 「機能」 > 「PIP」 を選択、または、選択されていることを確認します。



5. メインソースとサブソースを確認し、必要に応じて変更します。（「スワップ」を選択すると現在表示されているソースが入れ替わります）



6. 「位置」でサブソースの表示位置、「サイズ」で、サブソースの表示サイズを変更できます。



「PBP (Picture By Picture) 機能」を使う

画面を左右均等に分割し、それぞれに別系統の映像を出力する機能です。



操作手順 (共通)

機器 2 台を映像ケーブルでプロジェクタに接続します。(接続例: HDMI1 と HDMI2 または、HDMI1 と VGA)



- ・「デジタルスライド」が「オン」の状態では、「PIP – PBP 設定」の項目がグレーアウトされて選択できません。

リモコンでの操作手順

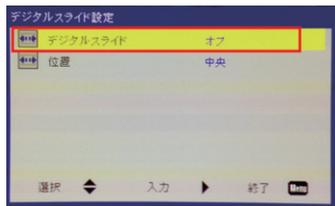
1. リモコンの [9] 【2画面】 ボタンを押すことで PBP モードに切り替わります。



2. いずれかの入力ソースボタン ([4] 【HDMI1】 ボタンなど) を押すことで、PBP モードが終了します。

メニューでの操作手順

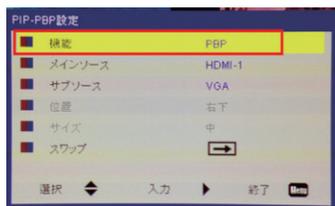
1. メニューを開き、「スクリーン」>「デジタルスライド設定」より、デジタルスライド設定を「オフ」にします。



2. 「スクリーン」>「PIP-PBP 設定」を選択します。



3. 「機能」>「PBP」を選択、または、選択されていることを確認します。メインソースとサブソースを確認し、必要に応じて変更します。「スワップ」を選択すると現在表示されているソースが入れ替わります)

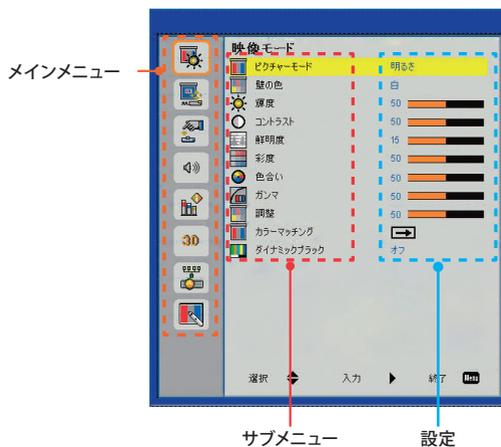


設定メニュー

多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

操作方法

1. リモコンまたはコントロールパネルの【メニュー】ボタンを押します。
2. メニューが表示されたら、◀または▶ボタンを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▶ボタンまたは、【決定】ボタンを押してサブメニューへ進みます。
3. ▲または▼ボタンを使って目的の項目を選択し、◀または▶ボタンを使用して設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 【決定】ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度【メニュー】ボタンを押します。メニューが閉じられ、プロジェクトは自動的に新しい設定を保存します。



映像モード



ピクチャーモード

利用シーンに合わせてピクチャーモードを選択できます。◀または▶ボタンを使って項目を選択します。

- ▶ **明るさ**：明るさを重視した設定です。
- ▶ **プレゼンテーション**：カラーの資料を投影するのに最適な設定です。
- ▶ **標準**：バランスの取れた明るさと色調の設定です。
- ▶ **映画**：暗い部屋で映画など動画を楽しむのに最適です。
- ▶ **資料**：白黒の表現を重視した設定です。
- ▶ **ユーザー**：詳細な設定ができます。（コントラストなどの調整を手動で行った場合、ピクチャーモードが自動的に「ユーザー」に変更されます。）

壁の色

投影する壁面の色に応じて最適な映像に調整されます。壁の色は、「白」、「ライトイエロー」、「ライトブルー」、「ピンク」および「ダークグリーン」から選択できます。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ▶ ◀ボタンを押すと、画像が暗くなります。
- ▶ ▶ボタンを押すと、画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差を調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変わります。

- ▶ ◀ ボタンを押すと、コントラストが減少します。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、コントラストが増加します。

鮮明度

映像の鮮明度を調整します。

- ▶ ◀ ボタンを押すと、鮮明度が減少します。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、鮮明度が増加します。

彩度

映像の彩度を調整します。

- ▶ ◀ ボタンを押すと、画像の彩度が減少します。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、画像の彩度が増加します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀ ボタンを押すと、画像の緑の量が増加します。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、画像の赤の量が増加します。

ガンマ

映像のガンマ値を調整します。

調整（色温度）

映像の色温度を調整できます。より高い温度で、画面は寒色系に見え、低い温度で、画面は暖色系に見えます。

カラーマッチング

詳細な色設定を行います。（赤色、緑色、青色、シアン、マゼンダ、黄色）



ダイナミックブラック

画面内に表示するものがなく画面が真っ暗な状態における、黒色の表現の仕方を変更します。

- ▶ **オン**：黒色を、ランプの消灯で表現します。（ただし、画面内に 1px でも表示物がある場合、「オフ」の状態では表現されません）
- ▶ **オフ**：黒色を、黒色の光で表現します。

・「ダイナミックブラック」をオンにすると、「ガンマ」「カラーマッチング」を除く、映像モードのその他の設定が変更できなくなります。

スクリーン



アスペクト比

- ▶ **自動**：入力ソース本来の幅 - 高さ比を保持しつつ、ネイティブな水平または垂直ピクセルに合わせて最大表示します。
- ▶ **4:3**：アスペクト比 4:3 の比率で画面に合わせて表示されます。
- ▶ **16:9**：アスペクト比 16:9 の比率で画面に合わせて表示されます。
- ▶ **16:6**：アスペクト比 16:6 の比率で画面に合わせて表示されます。

デジタルズーム

- ▶ ◀ ボタンを押すと、投影映像のサイズが縮小されます。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、投影映像のサイズが拡大されます。



画面縮小

- ▶ ◀ ボタンを押すと、投影映像のサイズが縮小されます。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、投影映像が元のサイズに向けて拡大されます。

設置状態

- ▶ **フロント**：投影映像は直接スクリーンに投影されます。
- ▶ **フロント・上下反転**：デフォルトです。選択されると投影映像は上下逆向きに表示されます。
- ▶ **リア**：投影映像を左右逆向きに表示します。
- ▶ **リア・上下反転**：投影映像を上下・左右逆向きに表示します。

- ・「デジタルスライド」をオンにした状態で、「画面縮小」を行うと IR ペンのタッチ位置がずれ、正常に使えなくなります。

映像デジタル補正

- ▶ **水平キーストン:** ◀または▶ボタンで、投影映像の水平レベルを調整できます。
- ▶ **垂直キーストン:** ◀または▶ボタンで、投影映像の台形補正を行えます。
- ▶ **曲面補正:** 湾曲した面に投影した際に発生する画角の歪みを補正できます。頂点を選択し、▲▼◀▶ボタンで移動して画角を調整します。曲面補正についての詳細は、[ユーザーマニュアル P.23「曲面補正を行う」](#)をご参照ください。
 - オフ: 曲面補正がかかっていない状態です。
 - 5 × 3: 15 点の頂点を動かして画角の歪みを調整します。
- ▶ **グリッド色:** 曲面補正の際に表示されるグリッドの色を変更します。
- ▶ **曲面補正リセット:** 曲面補正をリセットします。
- ▶ **デジタルイメージシフト:** ◀または▶ボタンで、投影映像の上下位置を調整できます。



デジタルスライド設定

- ▶ **デジタルスライド:** 「オン」「オフ」の設定を行います。
- ▶ **位置:** ◀または▶ボタンで、投影映像の位置を「左」「中央」「右」に移動します。

※「デジタルスライド」は、アスペクト比 4:3 または、16:9 での投影時のみ使用可能です。

- ・「デジタルスライド」をオンにした状態で、アスペクト比を変更すると、設定した曲面補正の内容が変更されます。その際は、変更後のアスペクト比で再度曲面補正を行ってください。
- ・映像の幅がプロジェクタの最大解像度の幅と同じ場合、デジタルスライドは使用できません。
- ・「PIP - PBP 設定」>「機能」にて、「PIP」または、「PBP」が選択されている状態では「デジタルスライド」を使用できません。
- ・設定項目の「位相」、「クロック周波数」、「水平位置」、「垂直位置」は、ユーザーによる調整ができません。



PIP - PBP 設定

※「デジタルスライド」がオンになっているとこの機能は使えません（グレーアウトされて機能を選択できません）。機能を使用する際は、「デジタルスライド」を「オフ」にしてください。

▶ **機能:** 「PIP」「PBP」「オフ」の切り替えを行います。

- **PIP:** メインの画面の中に小さな独立した領域を設けて別系統の映像を出力する機能です。



- **PBP:** 画面を左右均等に分割し、それぞれに別系統の映像を出力する機能です。



- ▶ **メインソース:** メインソースの選択を行います。PIP では、背面の大きいエリアに表示されます。
- ▶ **サブソース:** サブソースの選択を行います。PIP では、手前の小さいエリアに表示されます。
- ▶ **位置:** PIP のサブソースエリアを「左上」「左下」「右上」「右下」に移動できます。（「PIP」選択時のみ使用）
- ▶ **サイズ:** PIP のサブソースエリアの大きさを 3 段階で調整できます。（「PIP」選択時のみ使用）
- ▶ **スワップ:** メインソースとサブソースを入れ替えます。

設定



言語

メニューをご希望の言語に設定します。◀または▶ボタンを押してサブメニューに移動してから、▲または▼ボタンを使って適用する言語を選びます。リモコンの▶ボタンを押すと選択が確定されます。



メニュー位置

メニューの表示位置を選択します。

VGA Out (スタンバイ)

「オン」を選ぶとVGA出力接続が有効になります。

テストパターン

「グリッド」または「白背景」のテストパターンを表示します。

リセット

「はい」を選択するとすべてのメニューの設定値が工場出荷時の設定に戻ります。

注意

- ・「リセット」を行っても、「映像デジタル補正」>「曲面補正」の設定は保持されます。
- ・「曲面補正」をリセットしたい場合は「映像デジタル補正」>「リセット」で行います。

音量



スピーカー

- ▶ 「オン」を選ぶとスピーカーが有効になります。
- ▶ 「オフ」を選ぶとスピーカーが無効になります。

オーディオ出力

- ▶ 「オン」を選択すると、ライン出力機能が有効になります。
- ▶ 「オフ」を選択すると、ライン出力機能が無効になります。

マイク

- ▶ 「オン」を選ぶとマイク入力が有効になります。
- ▶ 「オフ」を選ぶとマイク入力が無効になります。

消音

- ▶ 「オン」を選ぶと消音が有効となります。
- ▶ 「オフ」を選ぶと消音が無効となります。

マイク音量

- ▶ ◀ボタンを押すと、マイク音量が下がります。
- ▶ ▶ボタンを押すと、マイク音量が上がります。

音量

- ▶ ◀ボタンを押すと、スピーカー音量が下がります。
- ▶ ▶ボタンを押すと、スピーカー音量が上がります。

オプション



自動ソース

- ▶ **オン**：入力信号のある接続を自動で検索します。
- ▶ **オフ**：指定した入力接続のみを検索します。

入力

- ▶ チェックマークを切り替えることで、入力ソースの有効 / 無効を設定できます。

自動電源オフ(分)

プロジェクトタへの入力信号が検出されなくなってから自動で電源がオフになるまでの時間を設定します。

SSI 設定

それぞれのモードでのランプの使用時間の確認、ランプモードの設定ができます。



- ▶ **ランプ使用時間 (標準)**: ランプモード (ノーマル) での累計投影時間が表示されます。
- ▶ **ランプ使用時間 (エコ)**: ランプモード (エコ) での累計投影時間が表示されます。

ランプモード

- ▶ **ノーマル**: 通常のモードです。
- ▶ **エコ**: この機能を使うとプロジェクタの光量を減らして、電力消費を低減できます。

高地

- ▶ **オン**: 内蔵ファンは高速回転します。このオプションは、海拔 2500 フィート / 762 メートルを超える場所でプロジェクタを使用する際に選択します。
- ▶ **オフ**: 内蔵ファンは内部温度によって自動的に様々な速度で動作します。

オプションフィルターの設定

- ▶ **オプションフィルター装着済**: 「はい」を選択することで、オプションフィルターの使用時間の計測及びリマインダーの設定が可能になります。オプションフィルターは購入時にすでにセットされています。
- ▶ **フィルター使用時間**: オプションフィルターの使用時間が表示されます。(単位: 時間 h)
- ▶ **フィルターリマインダー**: 設定した時間を経過した時にアラートを表示します。
- ▶ **リマインダの削除**: ダストフィルターの交換または清掃の後に、「はい」を選んでダストフィルター時間数カウンタをリセットします。

情報

モデル名、SNID、ソース、解像度、ソフトウェアバージョンおよび縦横比といったプロジェクタ情報が表示されます。

PIP - PBP モジュール

管理者用の設定です。通常使用では設定を変更する必要はありません。

LAN設定



ステータス

ネットワーク接続状態を表示します。

DHCP クライアント

DHCP 設定を行います。

- ▶ **オン**：プロジェクトがネットワークから IP アドレスを自動的に取得できるようになります。
- ▶ **オフ**：IP、サブネットマスク、ゲートウェイおよび DNS 構成を手動で割り当てることができます。

IP アドレス

IP アドレスを表示します。

サブネットマスク

サブネットマスク番号を選択します。

ゲートウェイ

プロジェクトに接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイを表示します。

DNS

DNS 番号を表示します。

MAC アドレス

設定メニュー

MAC アドレスを表示します。

グループ名

グループ名を表示します。

プロジェクト名

プロジェクト名を表示します。

位置

プロジェクトの位置を表示します。

連絡先

問い合わせ先情報を表示します。

インタラクティブ



- ・「インタラクティブ」機能は、表示する入力ソースが HDMI/ VGA の際に利用できます。他のソースには対応していません。

インタラクティブ設定

- ▶ 「オン」を選ぶと IR ペンによる操作が有効になります。
- ▶ 「オフ」を選ぶと IR ペンによる操作が無効になります。

メニューでインタラクティブの設定を完了した後に USB ケーブルでコンピュータとプロジェクタを接続します。

IRペンでのタッチ操作について

使用上のご注意

プロジェクタに付いている IR カメラは、IR ペンから照射される赤外線信号を受信します。正常に動作させるには、以下の事項に注意してください。

- ▶ IR カメラを投影映像に向ける必要があります。
- ▶ IR カメラと投影映像との間にある障害物を取り除きます。
- ▶ 他の赤外線通信装置、照明機器、住宅用暖房器具などを近くに置かないでください。
- ▶ 投影面周辺に 20mm 以上のフラットなスペースを確保してください。投影面周辺 20mm 未満に黒板枠や粉受けがある場合、IR ペンの校正及び使用に支障をきたす恐れがあります。
- ▶ 同梱の USB ケーブルを使用してください。
- ▶ USB ケーブルを 5m 以上に延長するには、認定済みアクティブエクステンション USB ケーブルが必要です。

ウェブブラウザを使用してプロジェクトを制御する

制御デバイスでのウェブブラウザを介してプロジェクトを遠隔でコントロールすることができます。直接またはネットワーク経由で接続できます。

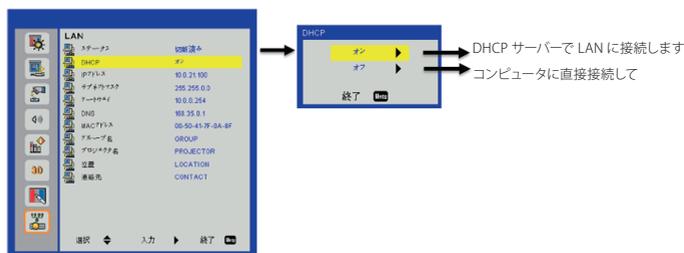
コンピュータからプロジェクトへのLAN接続を行う

ステップ 1: DHCP をオンにすると、DHCP サーバが自動的に IP を割り当てます。DHCP をオフにすると、手で IP を入力できます。

	ステータス	Connect
	DHCP	オフ
	IPアドレス	172.16.1.42
	サブネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	172.16.1.254
	DNS	172.16.1.1

ステップ 2: 適用を選択し、**OK** ボタンを押して構成プロセスを完了します。

ステップ 3: 下記を参考に、プロジェクトの LAN 機能から IP アドレスを見つけます。

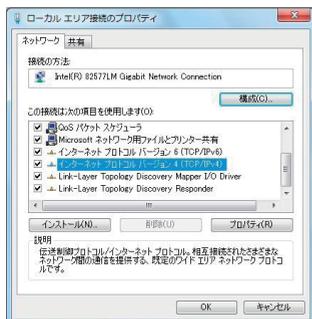


1. DHCP サーバーで LAN に接続します。DHCP → ON を選択してステップ 10 に進んでください。
2. コンピュータに直接接続して、DHCP → OFF を選択してください。

ステップ 4: 適用を選択し【決定】ボタンを押して機能を送信するか、【メニュー】ボタンを押して終了します。

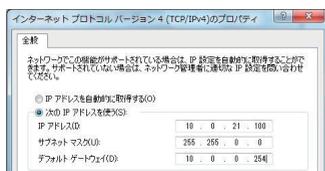
ステップ 5: ネットワーク接続を開始するには、「スタート」>「コントロールパネル」>「ネットワークとインターネット接続」を順にクリックし、「ネットワーク接続」をクリックします。設定したい接続をクリックし、「ネットワークタスク」から、「この接続の設定を変更する」をクリックします。

ステップ 6: 「全般タブ」の、「この接続は次の項目を使用します」から、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックします。



ステップ 7: 「次の IP アドレスを使う」をクリックしてから下記のように入力します：
(例)

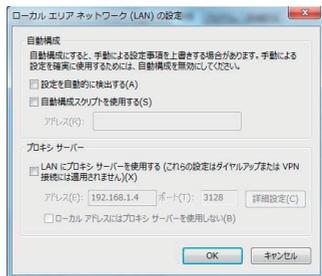
- 1) IP アドレス： 10.0.21.100
- 2) サブネットマスク： 255.255.0.0
- 3) デフォルトゲートウェイ： 10.0.0.254



ステップ 8: インターネットオプションを開くには、IE ウェブブラウザで、「インターネットオプション」をクリックし、「接続タブ」をクリックし、「LAN の設定…」をクリックします。



ステップ 9: 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」ダイアログボックスが表示されます。プロキシサーバー項目の「LAN にプロキシサーバーを使用する」チェックボックスのチェックを外してから「OK」ボタンを 2 回クリックします。



ステップ 10: ウェブブラウザを開いて、URL に IP アドレスを入力し、【決定】ボタンを押します。

プロジェクター情報

「プロジェクター情報」を読み出して各種言語での内容表示を選択できます。

The screenshot shows the 'Web Management' interface. On the left is a navigation menu with options: System Status, General Setup, Projector Control, Network Setup, Alert Setup, Creation, Reset to Default, and Reboot System. The main content area displays projector information in a table format.

Model Name	
Model Name	SP-UW360R
Projector Name	SP-UW360R
Version	
Firmware Version	T10
MCU Version	B04
GPU Version	B72
Network Version	B08
LAN Status	
IP Address	192.168.1.190
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.1.254
MAC Address	00:50:41:8A:5E:07

ネットワーク設定

IP アドレスを設定し、プロジェクター情報を編集できます。

The screenshot shows the 'Web Management' interface with the 'Network Setup' menu item selected. The main content area displays network configuration options.

UNICP Client On Off

IP Address	192	168	1	100
Subnet Mask	255	255	255	0
Default Gateway	192	168	1	254
DNS Server	192	168	1	254

Apply

プロジェクターコントロール

プロジェクターをコントロールできます。

Web Management Logout

Admin > Projector Control

- System Status
- General Setup
- Projector Control
- Network Setup
- Alert Setup
- Crestron
- Reset to Default
- Reboot System

Power On	Power Off	Color Mode	Bright
SSI Power Mode	Normal	Brightness	49
Reset		Contrast	52
Auto Source	On	Sharpness	6
Source	HDMI 1	Saturation	50
Auto Power Off (Min.)	20	Hue	50
High Altitude	Off	Gamma	2
Cleaning Reminder		Color Temperature	0
Filters Remind(Hour)	500	Aspect Ratio	16.9
3D	Auto	Phase	30
3D Sync, Invert	Off	Clock	50
3D Format	Frame Packing	H.Position	0
1080p @ 24	144 Hz	V.Position	0
		Digital Zoom	0

アラート設定

Eメールアドレスを割り当て、警告通知を分類することができます。

Web Management Logout

Admin > Alert Setup

- System Status
- General Setup
- Projector Control
- Network Setup
- Alert Setup
- Crestron
- Reset to Default
- Reboot System

Alert Type

System Overtemp Fan1 Error Fan2 Error Fan3 Error

DMD Fan Error PW Fan Error Color Wheel Fail Laser Error

Alert Mail Notification

SMTP Setting

SMTP Server

From

User Name

Password

Email Setting

Mail Subject: sakawa Alert

Mail Content

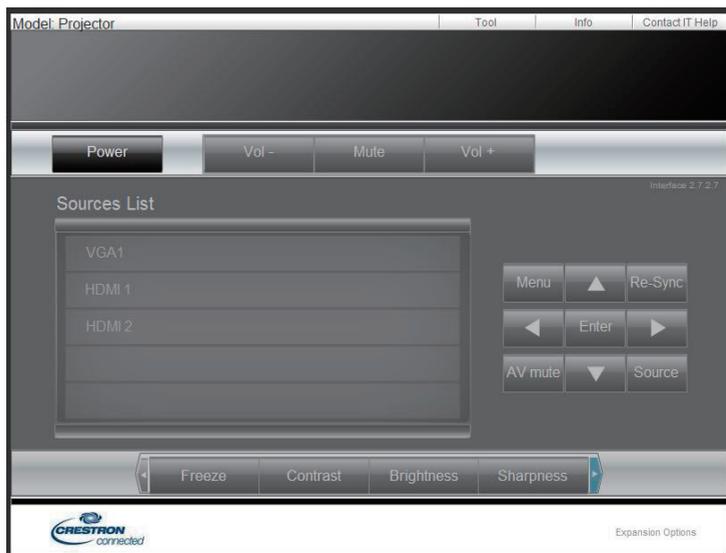
To

Apply Send Test Mail

設定メニュー

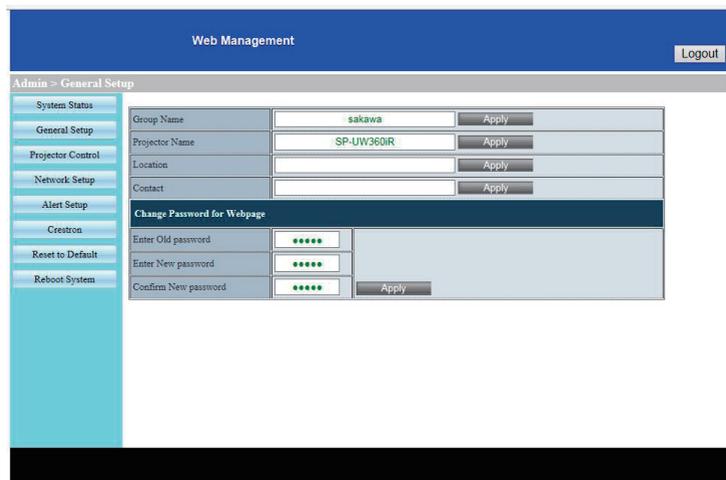
プロジェクター制御

画面上でプロジェクターの操作を行います。



一般設定

プロジェクターの名称やパスワードを設定できます。



IRペンを使う前に（初期設定）

ユーティリティソフトウェアのインストール

ソフトウェア動作環境

ソフトウェアのインストールの前に、コンピュータが以下の条件を満たしていることを確認してください。

システム要件	
オペレーティングシステム	Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10: タッチモード(10 タッチポイント)およびマウスモードに対応(Windows: .NET Framework 4.0 のインストールが必要です) OS X 10.11 El Capitan / macOS 10.12 Sierra
CPU	Intel CoreTM i3 またはそれ以上
メモリ	2GB またはそれ以上

インストールの準備

株式会社サカワ web サイト (<http://www.sakawa.net>) から、ユーティリティソフトウェアのインストーラーをダウンロードし、以下の手順に従ってインストールを行います。

インストールの手順 (Windows PCの場合)

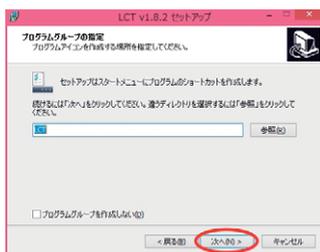
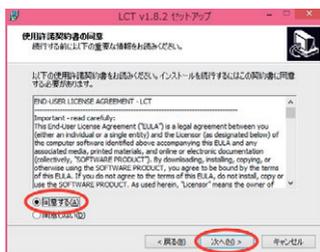
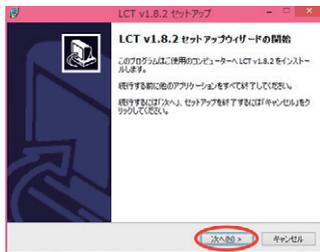
「LCTvx.x.x.exe」を起動します。(ソフトウェアのバージョンによって表記が異なります)

help
LCTv1.8.2.exe

2016/05/31 15:20 ファイル フォルダ
2015/10/21 13:21 アプリケーション

手順に沿ってインストールを行います。途中の「インストール先」の指定などは必要に応じて変更してください。(通常は手順の通りで問題ありません)

IRペンを使う



以上で、インストール作業は終了です。

インストールが完了すると、コンピュータのタスクトレイに以下のいずれかのアイコンが表示されます。

アイコン	状態
	プロジェクトとコンピュータが正常に接続されている状態
	プロジェクトとコンピュータが接続されていない状態

続いて、「タッチ位置の校正」作業を行います。

タッチ位置の校正を自動で行う

IR ペンを使用する場合、初回セットアップ時に必要な作業です。以下の作業は、一度行えばプロジェクタ及び投影面の位置関係が変わらない限り再度行う必要はありませんが、タッチ位置がずれたと感じた際にはタッチ位置の校正を再度行ってください。



- プロジェクタ側の画面解像度を「1920 × 720」、プロジェクタのアスペクト比を「16 : 6 (または自動)」にした状態で、タッチ位置の校正を行ってください。

タッチ位置の校正を行う前に

プロジェクタのタッチ位置の認識センサーは非常に繊細です。これからの各種設定を行う前に以下の点に注意することで、より良い状態のタッチ操作環境を再現することができます。

なるべく以下の条件を満たしてください

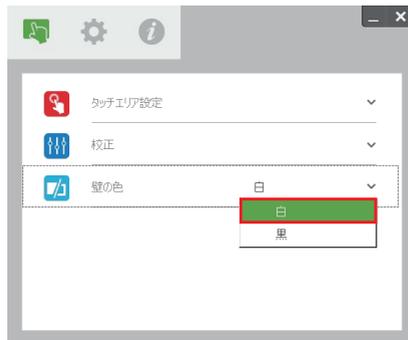
- 部屋の電気を消してカーテンを閉めるなど、なるべく周囲を暗くしてください。(太陽光や蛍光灯の光が赤外線センサーに干渉することがあります)
- フォーカスを調整し、投影映像を鮮明にした状態で行ってください。
- 設定中はレンズを遮らないようにし、本体に振動を与えないでください。

- 「IR ペン & LCT ユーティリティソフトウェア」を起動します。



- 必ず投影面の色に合わせて正しく設定してください。「壁の色」の設定が正しく行われていない場合、この後のタッチ位置の「校正」が完了できないことがあります。
- 投影面の色がグレーなどあまい場合は、まずは明るさが近い方の色を選択し、「校正」が完了できない場合にもう片方の色を選択し、再度「校正」を行ってください。

- 「壁の色」を、黒板に投影するのであれば「黒」、ホワイトボードやスクリーンに投影する場合は「白」に設定します。



3. 「タッチエリア設定」から、「自動」を選択します。タッチエリアの検出が自動で実行されます。



4. 「校正」から、「自動」を選択します。(タッチ位置の校正が自動で実行されます。実行中は、プロジェクタ本体を動かさず、また、投影面に影ができないように注意してください)



5. 以上でタッチ位置の自動校正は終了です。

自動設定がうまくいかない時は・・・

ユーザーマニュアル P.55「なるべく以下の条件を満たしてください」を参照の上、各条件を満たした状態で再度設定を行ってください。

それでも自動設定が失敗する場合は、ユーザーマニュアル P.57「タッチ位置の校正を手動で行う」を参照の上、設定を手動で行ってください。

タッチ位置の校正を手動で行う

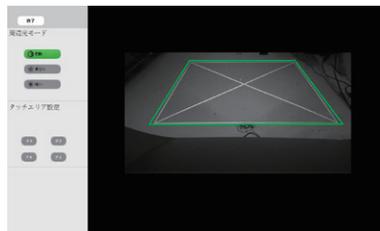
タッチエリア設定を手動で行う

1. 「タッチエリア設定」から、「手動」を選択します。



カメラが投影映像をキャプチャし、[タッチエリア]ウィンドウがポップアップします。キャプチャされた映像が不鮮明な場合、実際の周囲の明るさに従って、「周囲光モード選択」を「自動」から「明るい」または「暗い」に選択し直してください。

※キャプチャされた映像は実際のカメラ視野を表しますが、投影映像に対して反転しています。



タッチエリア境界の微調整

緑色領域の頂点を選択することで、頂点位置の変更ができます。画面を見ながら、緑色領域(タッチエリア境界)と白色フレーム(投影エリア)が重なるように、緑色領域を調整してください。

調整が完了したら、「終了」をクリックします。

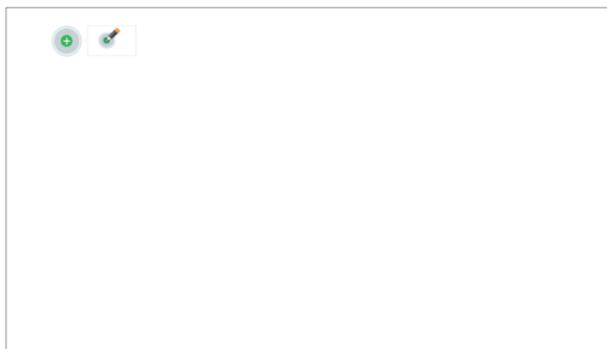
IRペンを使う

校正を手動で行う

2. 「校正」から、「手動」を選択します。



順に表示されるマーカーの中心を、IR ペンでタッチしていきます。



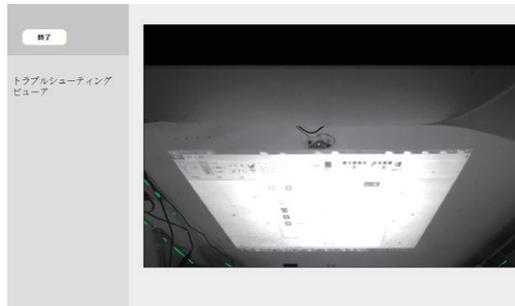
3. 以上でタッチ位置の手動校正は終了です。

トラブルシューティングビューワ

周囲からの赤外線（IR 光）がタッチ性能に干渉する場合があります。トラブルシューティングビューワは、デバッグ（問題修正）のためにリアルタイム映像を表示します。光の干渉が緑色でマークされます。緑色でマークされた妨害物が映像領域内に表示される場合は、取り除いてください。

注意：トラブルシューティングビューワでは IR ペンによるタッチが無効になります。クリックして終了してください。

注意：投影面周辺に 20mm 以上のフラットなスペースを確保してください。投影面周辺 20mm 未満に黒板枠や粉受けがある場合、IR ペンの校正及び使用に支障をきたす恐れがあります。



ワイドソフトウェア

ワイドソフトウェアをインストール、ご使用いただく前に、お使いの PC が下記の必要動作環境を満たしていることを確認してください。

必要動作環境を満たしていない場合、ワイドソフトウェアが起動しない、正しく動作しない、または、予期せぬ動作をするなどの問題が発生する恐れがあります。

必要動作環境

PC

項目	説明
OS	Windows 10 (64bit版 / 32bit版) Windows 8.1 (64bit版 / 32bit版)
RAM	2GB以上
HDD必要空き容量	5MB以上

画面設定

項目	説明
表示モード	「複製 (ミラーリング)」または、「セカンドスクリーンのみ (プロジェクタのみ表示)」

ワイドソフトウェアをインストールする

株式会社サカワ web サイト (<http://www.sakawa.net>) にアクセスして、ワイドソフトウェアをダウンロードし、以下の手順に従ってインストールを行います。



- ワイドソフトウェアをインストールし直す、または、バージョンアップする場合は、一度既存のワイドソフトウェアをアンインストールしてからインストールを行ってください。

 ワイドセットアップ.exe

2018/05/23 10:53 アプリケーション

セキュリティ警告が表示される場合は、「はい」または、「実行」をクリックして進めてください。

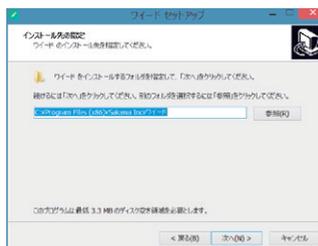
例：Windows10のセキュリティ警告



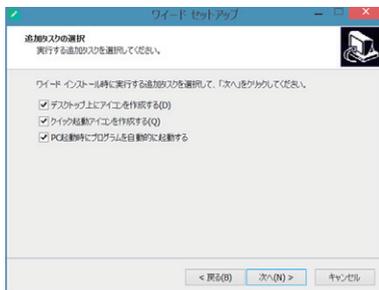
インストール手順



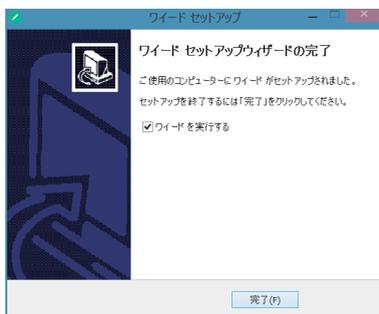
画面の案内に従って進みます。



ワイドソフトウェア



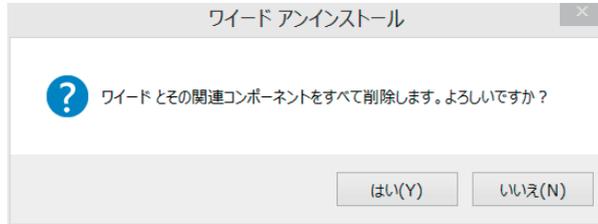
設定項目を確認し、必要に応じてチェックマークを入れてください。通常は、デフォルトの状態のまま「次へ」を選択してください。



以上でワイドソフトウェアのインストールが完了しました。

ワイドソフトウェアをアンインストールする

1. 「コントロールパネル」>「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「ワイド バージョン x.x」を選択し、「アンインストール」を選択します。
3. 以下の画面が表示されますので、「はい」をクリックしてアンインストールを開始します。



ワイドソフトウェアを起動する

インストール時に、「PC 起動時にプログラムを自動的に起動する」にチェックを入れている場合、PC の起動と同時にワイドソフトウェアは起動します。



ワイドソフトウェアを任意のタイミングで起動したい場合、デスクトップにある上記のアイコンをダブルクリックします。



ワイドソフトウェアが起動すると、上記のアイコンが常にデスクトップに表示されるようになります。

ワイドソフトウェア

基本操作

ワイドソフトウェアは、「通常・待機時」と「詳細メニュー（以下、パレットという）表示時」の二つのアイコンモードがあります。

通常・待機時

「マウスモード」「ペンモード」の切り替えを行います。



パレットを表示します。

パレット表示時

パレットを常に表示します。

ワイドソフトウェアを終了します。

【ペン・消しゴムツール】&【全消去】
ペン・消しゴムの選択を行います。

【ガイド幅調整】&
【背景白黒反転】
※「黒板モード」にて調整
が可能なガイドを表示した
際のみ出現します。

【保存】
画面全体を画像として保存します。
※ワイドソフトウェアのアイコンを
含まずにキャプチャされます。

【サイドメニュー】
画面サイズ変更・遠隔授業
(Zoom) が使えます。

【画像配置】
任意の画像を配置します。
※「黒板モード」でのみ有効

【設定】
ペンの設定を行います。

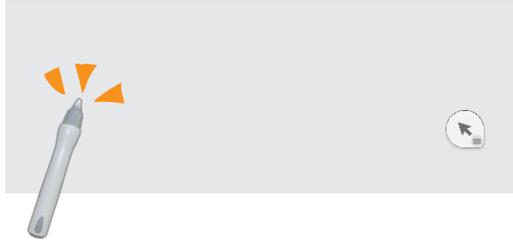
【画面ならべ】

【黒板モード】

【戻る・進む】
ペンでの書き込み・画像配
置などの取り消し・やり直
しを行います。

アイコンを手元に引き寄せる

画面上を電子ペンで素早く3回クリック（トリプルクリック）することで、ワイドソフトウェアのアイコンを手元に引き寄せることができます。

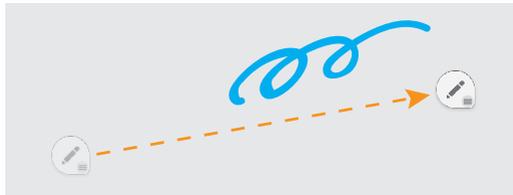


電子ペンで任意の位置をトリプルクリックすると、



アイコンが引き寄せられます。

アイコンを掴んでドラッグ操作することでアイコンの位置を変更することもできます。



また、「マウスモード」「ペンモード」どちらでもトリプルクリックによるアイコンの引き寄せが可能です。

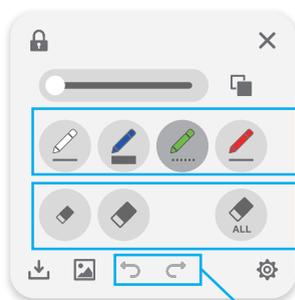
ペンツール

書く・消す

PDF や画像ビューア、ブラウザ上に書き込みを行えます。デスクトップ画面や、一部のウィンドウでは書き込みを行えませんのでご注意ください。



クリックすると、最近選んだペン、または、消しゴムツールに切り替わります。



【ペン (4種類)】
色・線種・太さが表示されます。

【消しゴム】
消しゴム小・大と、全消去です。
※全消去は、配置した画像を含めて消去されます。



【戻る・進む】
ペンでの書き込み・画像配置などの取り消し・やり直しを行います。

ペンツールが使用できないウィンドウ

以下のウィンドウ (画面) では、ペンツールによる書き込みができません。

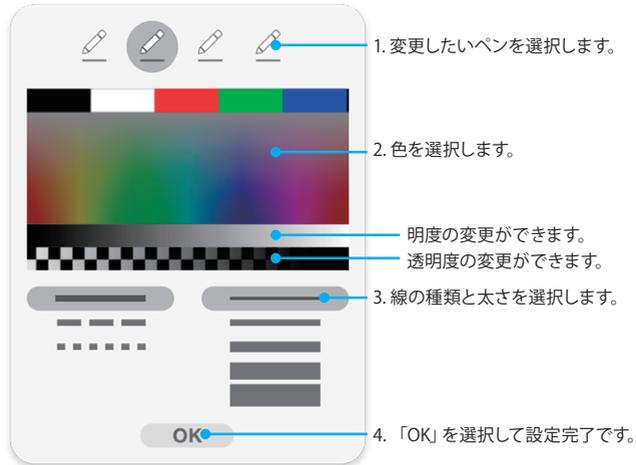
ペンツールが使用できないウィンドウ (画面)

デスクトップ画面

PowerPoint スライドショー時
(ワイドソフトウェアのアイコンが非表示になります。)

お気に入りのペンを登録する

よく使うペンを登録して素早く呼び出すことができます。

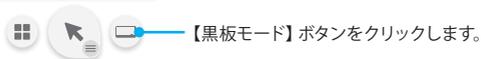
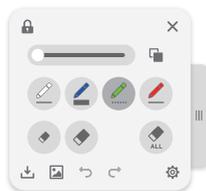


黒板モード

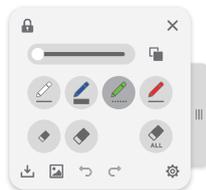
画面全体を白紙(ブランク)にする、または、ガイドを表示して、ペンツールで広々と書き込みを行えるモードです。

黒板モードに切り替える (ガイドを表示する)

1. パレットを表示し、【黒板モード】ボタンをクリックします。



2. ブランク、または、任意のガイドを選択します。



黒板モードを終了する

再度、【黒板モード】ボタンをクリックすることで、黒板モードを終了します。



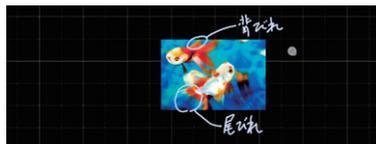
ガイドの幅を変更する

表示したガイドの幅が変更可能な場合、パレットにガイド幅調整スライダーが出現します。

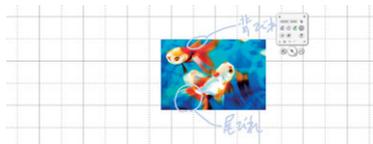


背景を白黒反転する

【背景白黒反転】ボタンをクリックすると背景を白黒反転します。



黒背景



白背景

画像を配置する

任意の画像を配置できます。

1. パレットを表示し、【画像配置】ボタンをクリックします。



2. 配置したい任意の画像を選択します。

読み込みが可能な画像ファイル

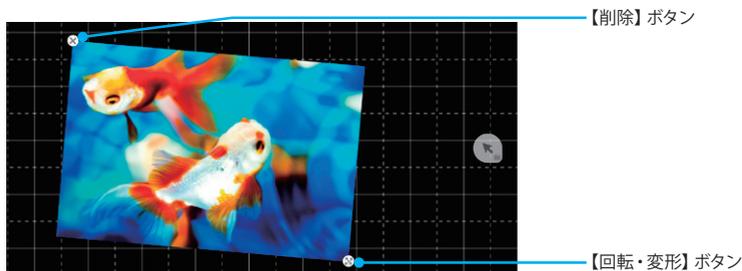
.png, .jpeg, .jpg, .bmp, .gif, .tiff

3. メインアイコンが以下のように変化したのを確認し、画像を配置したい場所をクリックすることで画像が配置されます。



配置した画像を、「移動」「回転」「拡大・縮小」する

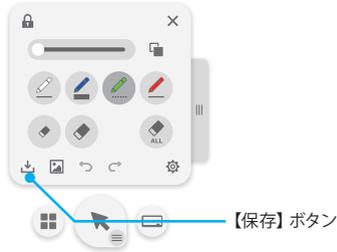
配置した画像をクリックすると、画像の左上に【削除】ボタン、右下に【回転・変形】ボタンが出現します。ドラッグ操作で削除や回転・変形ができます。



保存する

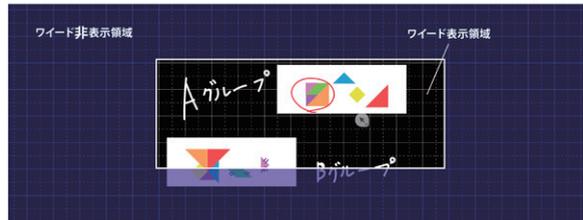
【保存】 ボタンをクリックすると、ペンツールで書いた内容や、配置した画像を含めて画面全体を画像として保存できます。

保存される画像には、ワイドソフトウェアのアイコンは含まれません。

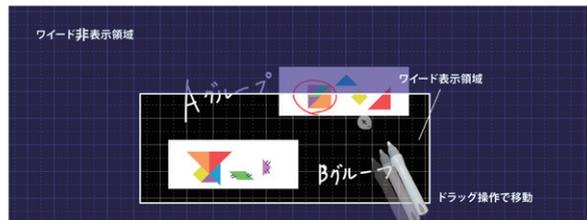


黒板モードの概念

黒板モードは、大きな1枚のキャンバスの一部分がワイドの表示領域に表示されているイメージであり、背景を電子ペンでドラッグ操作することでキャンバスを移動させ、隠れているエリアを表示することができます。



ドラッグ操作でキャンバスを移動します。



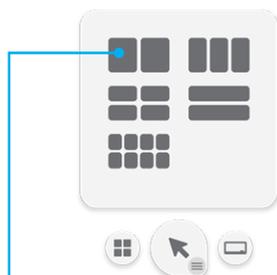
画面ならべ

現在開いているウィンドウを任意のレイアウトで整列配置できます。

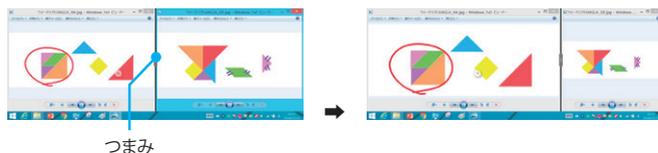
1. パレットを表示し、【画面ならべ】ボタンをクリックします。



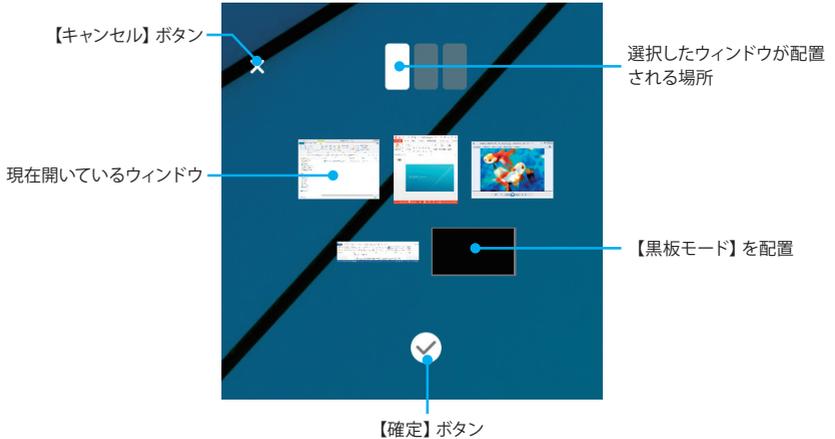
2. レイアウトを選択します。



※ 2画面 (横) のみ、画面の中央につまみが表示されます。つまみを掴んで左右にドラッグ操作することで、左右のウィンドウが連動したサイズ変更が可能です。



3. 整列配置するウィンドウを選択していきます。例えば、「3列配置」を選択した際に、3つのウィンドウエリア全てにウィンドウを割り当てる必要はなく、2つのウィンドウを選択後、【確定】ボタンを押すと最後の1枠はブランク(空きスペース)となります。



例：「3列配置」・・・ウィンドウ2つ選択後、【確定】ボタンを押した場合



ブランクには何も表示されず、背景のデスクトップが表示されます。

例：「3列配置」・・・ウィンドウ1つ選択、【黑板モード】選択、ウィンドウ1つを選択した場合



2列目がブランクとなり、背景に黑板モードが表示されます。

デスクトップを表示するには、【黑板モード】ボタンをクリックして黑板モードを終了します。

サイドメニュー (画面サイズ変更・遠隔授業)

右にあるつまみを押すと、画像サイズ（解像度）と遠隔授業（Web 会議サービス「Zoom」）の利用ができます。



【サイドメニュー】
クリックでメニューが開閉します。
(下が開いた状態)



【画面サイズ変更】
「4:3」、「16:9」、「16:6」の画面サイズ
(解像度)に変更されます。

【遠隔授業 (Zoom)】
遠隔で授業・会議ができます。

 Web会議に招待された場合、押すと参加できます。
※開催者からミーティングIDをもらう必要があります。

 遠隔の方を招き、Web会議を開くことができます。
※アドレス、パスワードの登録が必要です。



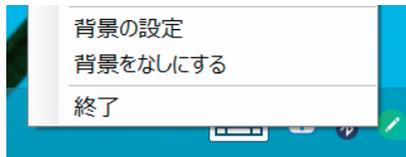
Zoomの使い方は公式HPをご覧ください。
<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

各種設定

背景を設定する

アイコンおよびパレットの背景を任意の画像に変更することができます。

1. タスクトレイにあるワイドソフトウェアのアイコンをクリックして出現するメニュー（以下、タスクトレイメニューという）より、「背景の設定」をクリックします。



2. 背景にしたい画像を選択します。



背景をなしにする（初期状態に戻す）

タスクトレイメニューより、「背景をなしにする」をクリックします。

アイコンおよびパレットの大きさを変更する

タスクトレイメニューより、「アイコンとメニューの大きさ」>「拡大」をクリックします。

アイコンおよびパレットの大きさが一回り大きくなります。初期値に戻す場合は、「標準」をクリックしてください。

トラブルシューティング

ワイード本体

問題	対処法
解像度「1920×720」が設定できない	<ul style="list-style-type: none">・ 解像度1920×720は、プロジェクタを接続した状態でないと出現しません。・ PCが古い機種である場合など、PCによってはプロジェクタと接続しても設定ができない場合があります。・ 画面モードが「複製」の場合、設定できないことがあります。画面モードを「セカンドスクリーンのみ」にしてお試しください。

※本体の異常につきましては、[ユーザーマニュアル P.77「LED インジケーターの見方」](#)をご確認ください。

IRペン&LCTユーティリティソフトウェア

問題	対処法
USBケーブルで接続しても認識されない	<ul style="list-style-type: none">・ PCからUSBケーブルを抜き、再度挿し直してください。・ USBケーブルを接続した状態で、PCを再起動してください。
「タッチエリア設定」または、「校正」が失敗する	部屋の明かりを消し、なるべく暗くした状態で行ってください。

ワイードソフトウェア

問題	対処法
インストールができない・途中でエラーになる	PCがユーザーマニュアルP.60「必要動作環境」を満たしているか確認してください。
アイコンが極端に小さく表示される	プロジェクタとPCの接続のタイミングによって、このような現象が発生することがあります。プロジェクタとPCを接続したまま、PCを再起動してください。
ペンツールでの書き込みができない	<ul style="list-style-type: none">・ デスクトップやPowerPointのスライドショーなど、一部画面では書き込みができませんように制限をしています。・ 以前は書き込みができていたウィンドウに対して書き込みができなくなった場合は、ワイードソフトウェアを再起動してください。

LEDインジケータの見方

「プロジェクタが起動しない」など、動作がおかしい時は、まずはプロジェクタ本体のコントロールパネルにあるインジケータを確認して対処法を試してみてください。

本機には次の3種類のインジケータがあります。インジケータの色と点灯状態によって本機の状態をお知らせします。

インジケータ			原因または状態	対処法
Power	Temp	Lamp		
 赤点灯	-	-	スタンバイ状態	正常です。
 青点灯	-	-	電源ON	正常です。
 赤点滅	-	-	起動準備中	正常です。
 黄点滅	-	 赤点灯	内部エラー	プロジェクタが自動的にシャットダウンします。頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」に連絡ください。
-	 赤点灯	 赤点灯	電源エラー	コンセントから電源プラグを抜き、3分ほど待ってから再度電源プラグをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。
 黄点滅	 赤点滅	-	内部エラー	プロジェクタが自動的にシャットダウンします。頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」に連絡ください。
-	 3秒間隔の遅い赤点滅	-	ファン異常	コンセントから電源プラグを抜き、3分ほど待ってから再度電源プラグをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。
-	 0.5秒間隔の速い赤点滅	-	カラーホイール異常	お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」に連絡ください。
-	 赤点灯	-	内部高温異常 (オーバーヒート)	異常ではありません。プロジェクタが高温になると投影を自動停止します。頻繁に発生する場合は、次の2点を確認してください。 ダストフィルターの清掃を行ってください。(部品が高温になっていることがありますので十分注意してください) コンセントから電源プラグを抜き、3分ほど待ってから再度電源プラグをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。
-	-	 赤点灯	光源に関するエラー	コンセントから電源プラグを抜き、3分ほど待ってから再度電源プラグをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。

トラブルシューティング

トラブルに関するお問い合わせ先

プロジェクタの使用中のトラブルに関するお問い合わせは、ワイドご相談窓口にて受け付けております。

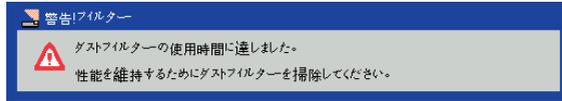
ワイドご相談窓口

受付時間：平日 9:00 ～ 17:00（土日祝は休み）

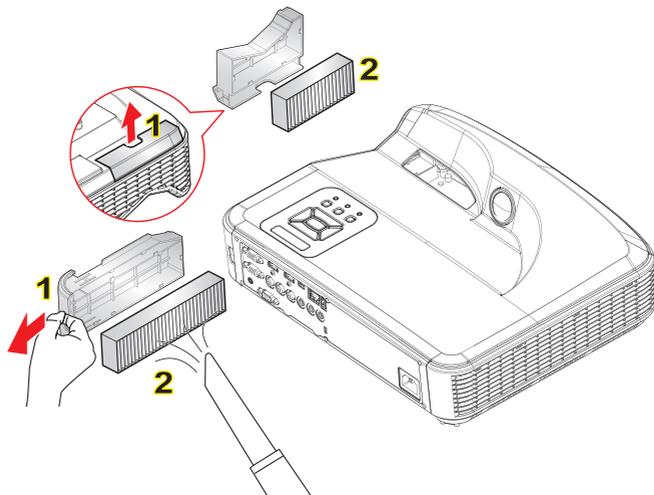
089-924-5020

ダストフィルターの取付および清掃

500 時間の運転毎、または埃の多い環境でプロジェクタを使用する場合は頻繁にダストフィルターを掃除することをお勧めします。画面に警告メッセージが表示されたときは、下記に従ってダストフィルターを掃除してください。



- ・ダストフィルターは常時装着しておく必要があります。
- ・適正なメンテナンスによって過熱とプロジェクタの故障を防ぐことができます。
- ・型式の仕様に関して特定のインタフェースを選択します。



ダストフィルターの清掃手順

1. 【電源】 ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
2. コンセントから電源プラグを抜きます。
3. 図に示すとおり、ダストフィルターを引き出します。[図中 1]
4. ダストフィルターを慎重に取り外します。次に、フィルターを清掃または交換します。[図中 2]
5. フィルターを装着するには、上記手順を逆に行います。
6. ダストフィルター交換後、プロジェクタの電源を入れ、フィルター使用カウンタをリセットします。ユーザーマニュアル P.44「オプションフィルターの設定」参照

製品仕様

a. 本体	
画素数	1920×720 (16:6) ※アスペクト比4:3, 16:9の出力も可能です
投影方式	DLP*方式 (レーザー光源)
有効光束 (明るさ)	3,400lm (アスペクト比16:6投影時)
投影画面サイズ	120インチ ~ 140インチ
コントラスト比	1,800:1
ズーム	固定
騒音	36dBA (通常) / 32dBA (ECOモード)
スピーカー	10W
インタラクティブ機能	IRペンによる赤外線方式
電源	AC 100-240V, 50-60Hz
消費電力	335W (通常) / 225W (ECOモード)
本体外形寸法 (W×D×H)	383mm×310mm×86mm
梱包サイズ (W×D×H)	51cm×42cm×31cm
本体重量	5.5kg
b. IRペン	
校正	自動校正 または、手動校正
マルチタッチ	Windows のみ対応 (Mac OS は非対応)
マルチタッチ最小距離	≥40mm
投影映像サイズ	70 ~ 100インチ @ XGA (TR0.25 USTプロジェクタとともに動作) 80 ~ 100インチ @ WXGA (TR0.25 USTプロジェクタとともに動作) 80 ~ 100インチ @ 1080P (TR0.25 USTプロジェクタとともに動作) 120~140インチ@ 16:6超ワイド (TR0.25 USTプロジェクタとともに動作)

互換性モード

VGAアナログ

a. PC信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
VGA	640 x 480	60	31.5
	640 x 480	67	35.0
	640 x 480	72	37.9
	640 x 480	75	37.5
	640 x 480	85	43.3
IBM	720 x 400	70	31.5
SVGA	800 x 600	56	35.1
	800 x 600	60	37.9
	800 x 600	72	48.1
	800 x 600	75	46.9
	800 x 600	85	53.7
Apple, MAC II	832 x 624	75	49.1
XGA	1024 x 768	60	48.4
	1024 x 768	70	56.5
	1024 x 768	75	60.0
	1024 x 768	85	68.7
	1024 x 768	120	99.0
Apple, MAC II	1152 x 870	75	68.7
SXGA	1280 x 1024	60	64.0
	1280 x 1024	72	77.0
	1280 x 1024	75	80.0
QuadVGA	1280 x 960	60	60.0
	1280 x 960	75	75.2
SXGA+	1400 x 1050	60	65.3
UXGA	1600 x 1200	60	75.0

b. 伸張ワイドタイミング			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
WXGA	1280 x 720	60	44.8
	1280 x 800	60	49.6
	1366 x 768	60	47.7
	1440 x 900	60	59.9
WSXGA+	1680 x 1050	60	65.3
UWHD	1920 x 720	60	44.4

c. コンポーネント信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
480i	720 x 480 (1440 x 480)	59.94 (29.97)	15.7
576i	720 x 576 (1440 x 576)	50 (25)	15.6
480p	720 x 480	59.94	31.5
576p	720 x 576	50	31.3
720p	1280 x 720	60	45.0
	1280 x 720	50	37.5
1080i	1920 x 1080	60 (30)	33.8
	1920 x 1080	50 (25)	28.1
1080p	1920 x 1080	23.98/24	27.0
	1920 x 1080	60	67.5
	1920 x 1080	50	56.3

HDMIデジタル

a. PC信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
VGA	640 x 480	60	31.5
	640 x 480	67	35.0
	640 x 480	72	37.9
	640 x 480	75	37.5
	640 x 480	85	43.3

IBM	720 x 400	70	31.5
SVGA	800 x 600	56	35.1
	800 x 600	60	37.9
	800 x 600	72	48.1
	800 x 600	75	46.9
	800 x 600	85	53.7
Apple, MAC II	832 x 624	75	49.1
XGA	1024 x 768	60	48.4
	1024 x 768	70	56.5
	1024 x 768	75	60.0
	1024 x 768	85	68.7
	1024 x 768	120	99.0
Apple, MAC II	1152 x 870	75	68.7
SXGA	1280 x 1024	60	64.0
	1280 x 1024	72	77.0
	1280 x 1024	75	80.0
QuadVGA	1280 x 960	60	60.0
	1280 x 960	75	75.2
SXGA+	1400 x 1050	60	65.3
UXGA	1600 x 1200	60	75.0

b. 拡張ワイドタイミング

モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
WXGA	1280 x 720	60	44.8
	1280 x 800	60	49.6
	1366 x 768	60	47.7
	1440 x 900	60	59.9
WSXGA+	1680 x 1050	60	65.3
UWHD	1920 x 720	60	44.4

c. ビデオ信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
480p	640 x 480	59.94/60	31.5
480i	720 x 480 (1440 x 480)	59.94 (29.97)	15.7
576i	720 x 576 (1440 x 576)	50 (25)	15.6
480p	720 x 480	59.94	31.5
576p	720 x 576	50	31.3
720p	1280 x 720	60	45.0
	1280 x 720	50	37.5
1080i	1920 x 1080	60 (30)	33.8
	1920 x 1080	50 (25)	28.1
1080p	1920 x 1080	23.98/24	27.0
	1920 x 1080	60	67.5
	1920 x 1080	50	56.3

d. HDMI 1.4a強制3Dタイミング-ビデオ信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
Frame Packing	720p	50	31.5
	720p	59.94/60	15.7
	1080p	23.98/24	15.6
Side-by-Side (Half)	1080i	50	31.5
	1080i	59.94/60	31.3
Top and Bottom	720p	50	45.0
	720p	59.94/60	37.5
	1080p	23.98/24	33.8

RS232コマンドとプロトコル機能リスト

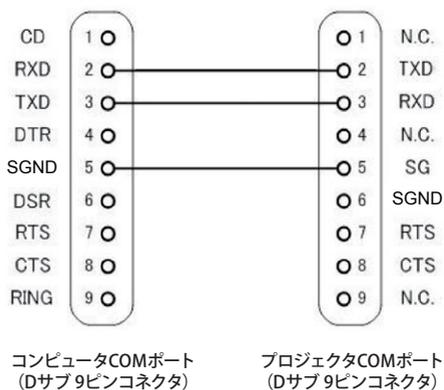
RS232ポート設定

項目	方法
通信方法	非同期通信
ビット/秒	19200
データビット	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし



RS232信号接続

- RS232 シェルはアースされています。



コマンドセット一覧

コマンドの説明	ASCIIコード	プロジェクト戻り	n値	注
電源	#0000 n	Pass : P / Fail : F	0 : オフ 1 : オン	
エミュレートリモート	#0001 n	Pass : P / Fail : F	1 : 上 2 : 左 3 : 右 4 : 下 5 : メニュー 6 : 入力検出 7 : 垂直キーストン+ 8 : 垂直キーストン- 9 : 音量+ 10 : 音量- 11 : 決定 12 : 終了	
再同期	#0002 1	Pass : P / Fail : F		VGAのみ
A/Vミュート	#0003 n	Pass : P / Fail : F	0 : オフ 1 : オン	
静止	#0004 n	Pass : P / Fail : F	0 : フリーズ解除 1 : フリーズ	
入力検出	#0005 n	Pass : P / Fail : F	1 : VGA 3 : HDMI 1 4 : HDMI 2	
ピクチャーモード	#0010 n	Pass : P / Fail : F	1 : 明るさ 2 : プレゼンテーション 3 : 標準 4 : 動画 5 : 資料 6 : ユーザー	
輝度	#0011 n	Pass : P / Fail : F	0 ~ 100	
コントラスト	#0012 n	Pass : P / Fail : F	0 ~ 100	
鮮明度	#0013 n	Pass : P / Fail : F	0 ~ 100	
アスペクト比	#0020 n	Pass : P / Fail : F	1 : 自動 2 : 4:3 3 : 16:9 4 : 16:6	
デジタルズーム	#0021 n	Pass : P / Fail : F	0 ~ 10	
垂直キーストン	#0022 n	Pass : P / Fail : F	-40 ~ 40	
設置状態	#0023 n	Pass : P / Fail : F	1 : フロント 2 : リア 3 : フロント上下反転 4 : リア上下反転	
水平キーストン	#0024 n	Pass : P / Fail : F	-40 ~ 40	

言語	#0030 n	Pass : P / Fail : F	1: 英語 2: ドイツ語 3: スウェーデン語 4: フランス語 5: アラビア語 6: オランダ語 7: ノルウェー語 8: デンマーク語 9: 簡体字中国語 10: ボーランド語 11: 韓国語 12: ロシア語 13: スペイン語 14: 繁体字中国語 15: イタリア語 16: ポルトガル語 17: トルコ語 18: 日本語	
メニュー位置	#0031 n	Pass : P / Fail : F	1: 左上 2: 右上 3: 中央 4: 左下 5: 右下	
リセット	#0032 1	Pass : P / Fail : F		
消音	#0040 n	Pass : P / Fail : F	0: オフ 1: オン	
音量	#0041 n	Pass : P / Fail : F	0 ~ 15	
マイク音量	#0042 n	Pass : P / Fail : F	0 ~ 30	
自動電源オフ(分)	#0050 n	Pass : P / Fail : F	0 ~ 120	ステップ = 5
高地	#0051 n	Pass : P / Fail : F	0: オフ 1: オン	
機能	#0070 n	Pass : P / Fail : F	0: オフ 1: PIP 2: PBP	
スワップ	#0071 1	Pass : P / Fail : F		
位置 (PIP)	#0072 n	Pass : P / Fail : F	0: 左上 1: 左下 2: 右上 3: 右下	
サイズ	#0073 n	Pass : P / Fail : F	0: 小 1: 中 2: 大	
メインソース	#0074 n	Pass : P / Fail : F	1: VGA 3: HDMI 1 4: HDMI 2	
サブソース	#0075 n	Pass : P / Fail : F	1: VGA 3: HDMI 1 4: HDMI 2	
曲面補正	#0080 n	Pass : P / Fail : F	0: オフ 3: 5x3	
グリッド色	#0081 n	Pass : P / Fail : F	0: 緑 1: 紫	
デジタルイメージ シフト	#0082 n	Pass : P / Fail : F	0 ~ 50	

付録

曲面補正リセット	#0083 1	Pass : P / Fail : F		
デジタルスライド	#0084 n	Pass : P / Fail : F	0 : オフ 1 : オン	
位置 (デジタルスライド)	#0085 n	Pass : P / Fail : F	0 : 中央 1 : 左 2 : 右	

天井マウント設置



他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、 프로젝터를取り付けするネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ▶ ネジの種類：M4 × 4
- ▶ 最小ネジ長：10 mm

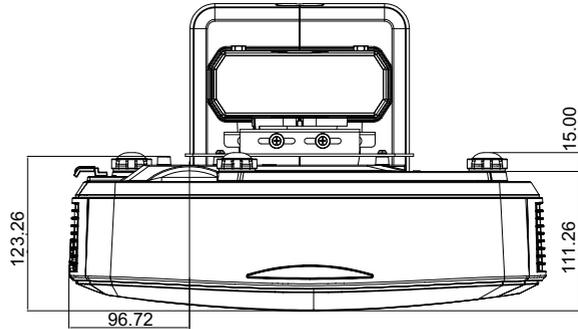
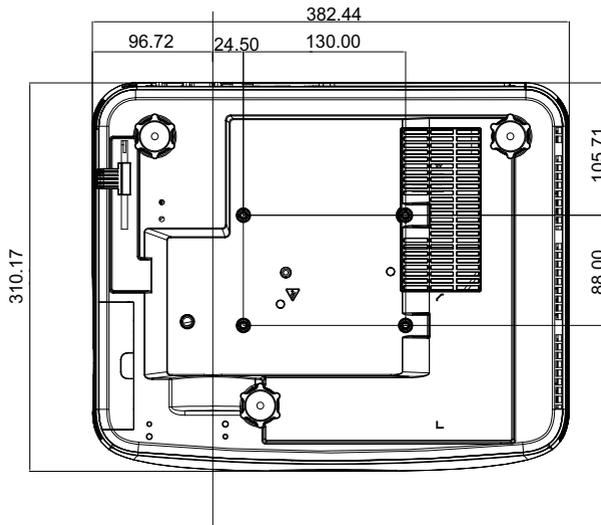


IMAGE CENTER



警告：

- ・ 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- ・ プロジェクタの底部と天井の間には、10cm 以上の空間を設けてください。
- ・ プロジェクタは、熱源の近くに設置しないで下さい。
- ・ 他社製の天吊りキットを使用して 프로젝터를設置した場合の、 프로젝터の落下事故やそれに伴う怪我などの損害については当社の責任の範囲外となります。

安全上のご注意



警告

- ▶ このプロジェクタは、IEC 60825-1:2007、CFR 1040.10 および 1040.11 準拠のクラス 2 レーザー装置です。
- ▶ このプロジェクタは、class 4 レーザーモジュールを内蔵しています。分解または改造は絶対に行わないでください。
- ▶ ユーザーマニュアルによって特に指示されていない操作または調整でも、レーザーの放射にさらされる危険があります。
- ▶ プロジェクタを開けたり分解しないでください。レーザー光線の暴露によって負傷することがあります。
- ▶ プロジェクタの電源が入っているときにレーザー光線を見つめないでください。明るい光によって目に障害が生じる恐れがあります。
- ▶ コントロール、調整または操作手順に従わないと、レーザー光線の暴露によって負傷する恐れがあります。
- ▶ 組立て、操作およびメンテナンスのための適切な指示に従ってください。この指示にはレーザー光線の暴露の可能性および、クラス 2 での到達可能な放射制限超過による二次的放射を回避するための安全上の注意に関する警告が含まれます。



廃棄に関する指示: プロジェクタを処分する際は、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。